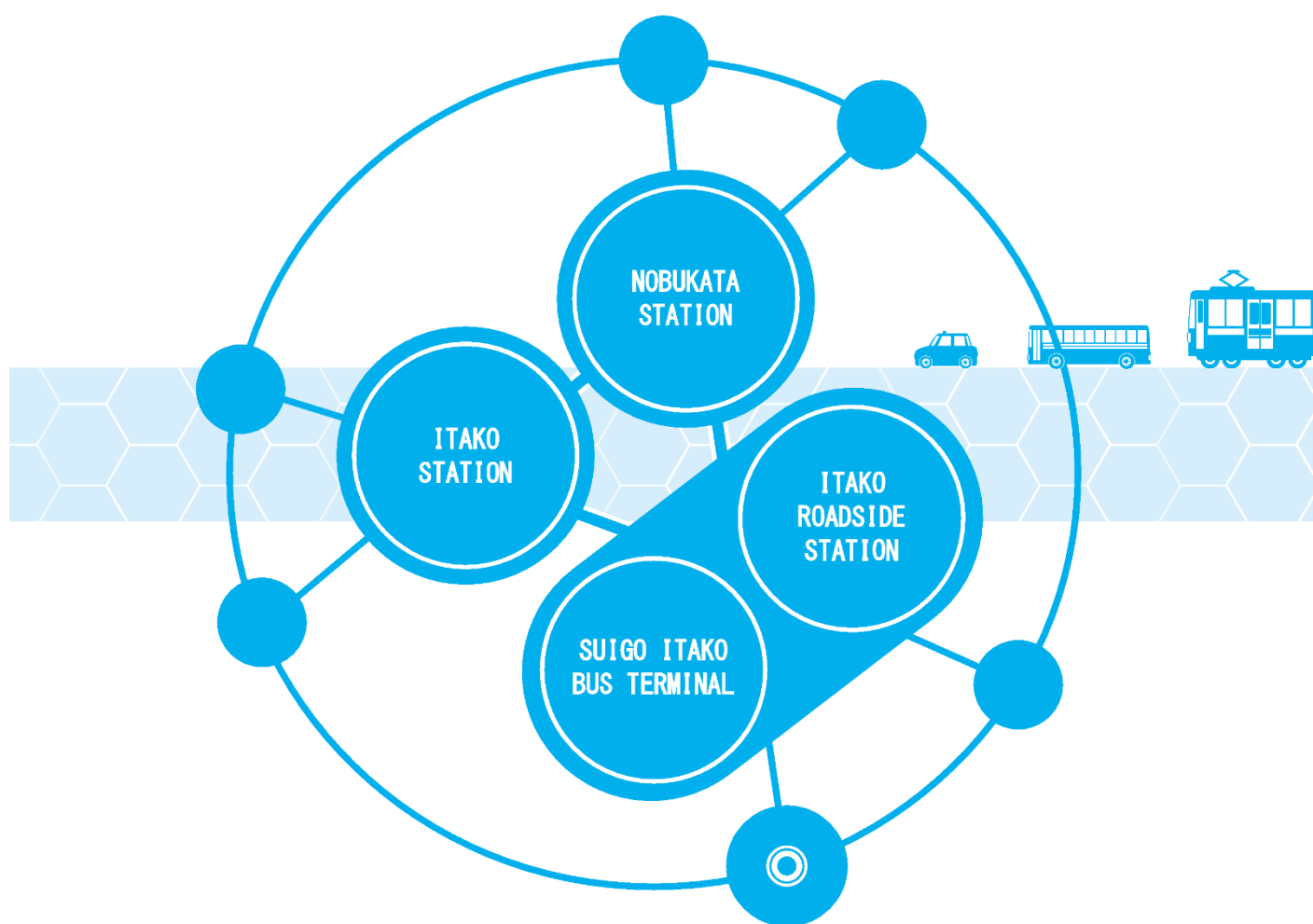


潮来市地域公共交通計画



令和4年3月
(令和6年8月変更)



潮来市

目 次

1. 計画策定の概要.....	1
1.1 潮来市の位置と地勢.....	1
1.2 計画策定の趣旨.....	1
1.3 計画の区域.....	2
1.4 計画期間.....	2
1.5 基本理念.....	3
2. 地域現況.....	5
2.1 地域の現状と将来動向.....	5
2.2 交通の現状.....	9
3. 上位・関連計画.....	18
3.1 茨城県計画.....	18
3.2 潮来市計画.....	19
4. 広域路線バス及び高齢者タクシー利用料金助成事業の現状.....	22
4.1 運行概要.....	22
4.2 利用状況.....	24
4.3 利用実績の概況.....	31
5. 現行計画のフォローアップ.....	32
6. 地域公共交通の課題、基本方針、計画目標.....	34
6.1 地域公共交通の課題.....	34
6.2 基本方針.....	35
6.3 基本方針と計画目標.....	38
7. 実施する事業・実施主体.....	40
7.1 持続可能な公共交通ネットワークへの改善.....	42
7.2 マイカーに頼らない移動の利便性向上.....	48
7.3 交通拠点の活性化による公共交通利用者増の実現.....	51
7.4 多様な取組みによる公共交通利用促進.....	56
7.5 社会課題への貢献.....	61
8. 目標の設定と進行管理・評価.....	65
8.1 目標の設定.....	65
8.2 進行管理・評価.....	67
9. 地域公共交通確保維持事業について.....	69
資料編.....	71

1. 計画策定の概要

1.1 潮来市の位置と地勢

潮来市は茨城県東南部に位置し、北は行方市、南は神栖市、東は鹿嶋市、西は千葉県香取市に面しています。位置は、おおむね東経 140° 30' から 140° 36' で、北緯 35° 54' から 35° 59' にあり、面積は、71.40 平方キロメートルです。

東西が約 12 キロメートル、南北が 13 キロメートルあり、北部には海拔約 30 メートルから 40 メートルの行方台地が南北に続いています。東部は北浦に面し、西部は霞ヶ浦と北利根川、南部は外浪逆浦というように、水辺に囲まれた自然豊かなまちです。



出典：エリアキリバリー

1.2 計画策定の趣旨

市内には、東関東自動車道水戸線潮来インターチェンジ、東京駅や成田空港などを結ぶ高速バスがコロナ禍以前においては 1 日あたり往復 200 便以上発着する水郷潮来バスターミナル、ＪＲ鹿島線 2 駅（潮来駅・延方駅）等が存在しており、広域的な移動手段は一定程度確保されています。

「潮来市地域公共交通網形成計画 平成 29 年 3 月」の計画理念のもと、市内の移動及び市外近隣市との移動には、広域路線バス（現 2 路線）の運行、公共交通空白地域における高齢者の移動には、高齢者タクシー利用料金助成事業が行われています。

しかしながら、広域路線バスの利用が低迷するとともに、高齢者タクシー利用料金助成事業も、コロナ禍の影響もあり、対象者に対し実際の利用者が少ない状況です。自家用車などの移動手段を持たない高齢者や児童・生徒等の公共交通による移動がしやすく、広く公共交通が移動に役立ち、そして利用者が増加する改善が求められています。

市では、平成 29 年 3 月に「潮来市地域公共交通網形成計画」を策定し、各種施策の推進を図っているところですが、本計画の計画期間が平成 29 年度～令和 3

年度（2022 年 3 月）となっていることから、現行計画の評価等を実施したうえで、次期計画となる「潮来市地域公共交通計画」を策定することが必要となりました。策定にあたっては、令和 2 年の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正内容を踏まえたものとします。

1.3 計画の区域

計画区域は、潮来市内を基本とし、隣接市との連携の上から、必要に応じて市外も対象とします。



■位置図

出典：エリアキリバリー

1.4 計画期間

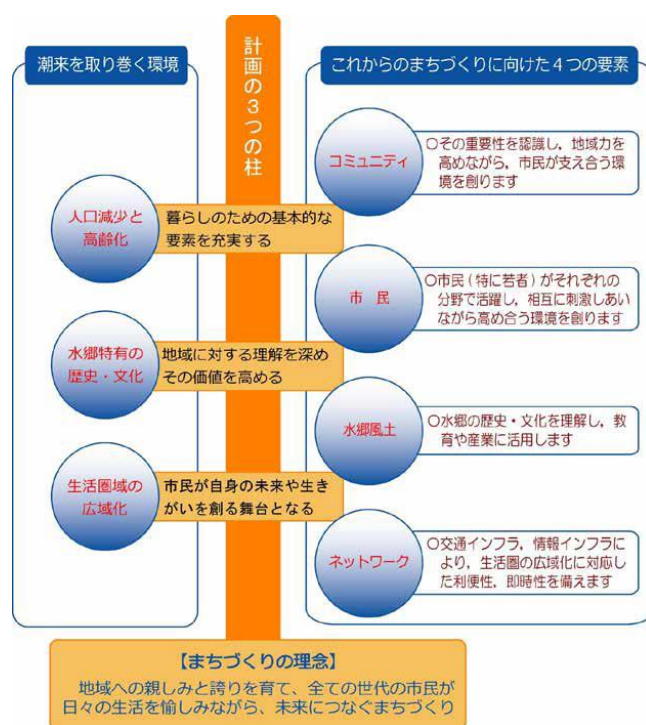
計画期間は、5 カ年（令和 4 年度～令和 8 年度）とします。

1.5 基本理念

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号）第 5 条に規定する法定計画として、市の最上位計画である潮来市第 7 次総合計画（平成 31 年 3 月）に即し、将来像を実現するため、地域公共交通のマスタープランとして策定します。

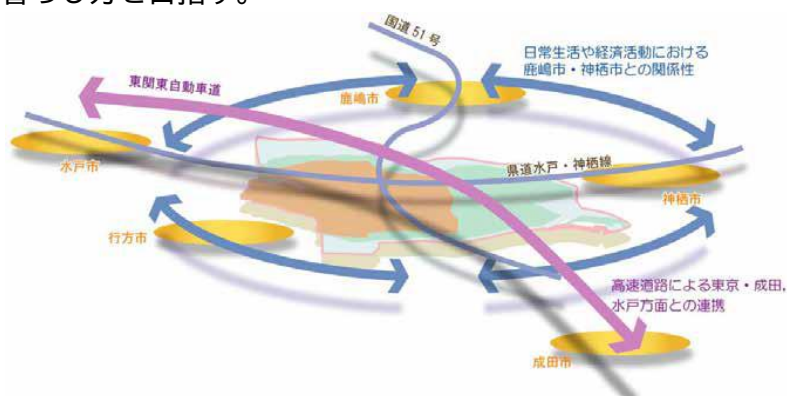
潮来市第 7 次総合計画の将来像は次のとおりです。

【まちづくりの理念】



【将来の潮来の暮らしのあり方】

生活圏域が広域化していることを考慮し、地域において周辺地域（鹿嶋市、神栖市、行方市等）との関係性を構築するとともに、より広域に対しては東関東自動車道水戸線を軸として、東京・成田、水戸市との連携を前提とした暮らし方を目指す。



【土地利用方針】

- ① 4つの市街地（潮来・辻地区、延方地区、日の出地区、牛堀地区）を基本とするコンパクトで機能的な土地利用
- ② 観光・交流の充実と産業集積を促進する土地利用
- ③ 水郷の原風景との共生に配慮した土地利用



この総合計画の策定当時と現時点では、大きな変化が生じています。それは、①新型コロナウイルス感染拡大に端を発したニューノーマル、②ITの進展によるデジタルトランスフォーメーション、③地球温暖化を抑制するカーボンニュートラルです。

特にニューノーマルでは、デジタル化の進展でテレワーク等が進み、二地域居住や郊外・地方移住が現実になってきており、東京都心から50km～100km圏での需要が増加しています。潮来市はその適地になりうるポテンシャルを有していると考えられます。

「潮来市地域公共交通網形成計画 平成29年3月」で掲げた次の基本理念は、現時点において、一層相応しいものとなり、本計画においてもこの理念のもと、計画策定を行います。

基本理念

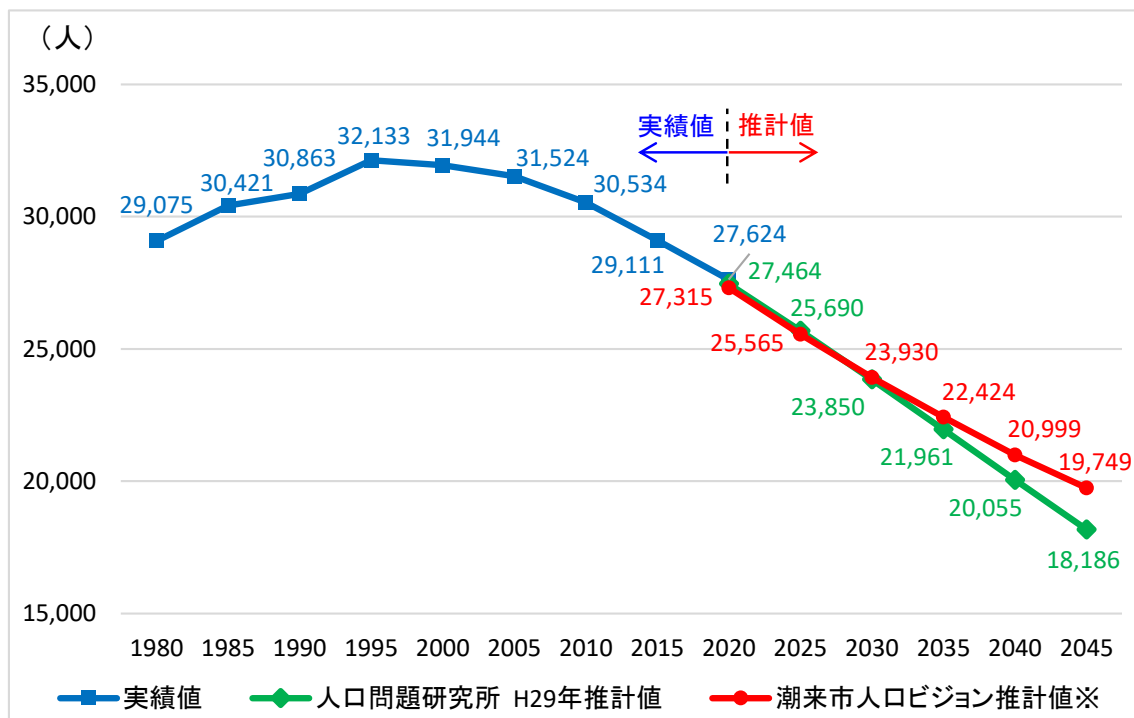
まちづくりと連携し、“便利な田舎の暮らし”を支える公共交通体系を構築します。

2. 地域現況

2.1 地域の現状と将来動向

人口の推移

国立社会保障・人口問題研究所推計値によると 2045 年(令和 27 年)の本市の人口は 18,186 人となり、2020 年(令和 2 年)の国勢調査速報値である 27,624 人と比べると約 9.4 千人(約 34%)減少することが見込まれています。ただし、令和 2 年 3 月に策定された第 2 期潮来市人口ビジョン・総合戦略では、人口移動率の均衡や出生率が回復した場合を想定し予測を行っており、その場合の 2045 年(令和 27 年)の人口は、19,749 人です。



※2040 年までに移動率均衡、出生率 1.8

データ：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計値、潮来市人口ビジョンより作成

【参考】運転免許保有率の変化

本市民の運転免許保有率は「25 歳～64 歳」及び「65 歳以上」では平成 28 年度以降一貫して増加傾向にあります。一方、「16 歳～24 歳」については、平成 30 年度から令和元年度にかけて減少しています。

年度	運転免許保有者数				人口				運転免許保有率			
	総数	16～24歳	25～64歳	65歳以上	総数	16～24歳	25～64歳	65歳以上	総数	16～24歳	25～64歳	65歳以上
平成28年度	20,739	1,549	13,682	5,508	25,063	2,394	14,148	8,521	82.7%	64.7%	96.7%	64.6%
平成29年度	20,597	1,497	13,387	5,713	24,811	2,309	13,825	8,677	83.0%	64.8%	96.8%	65.8%
平成30年度	20,456	1,455	13,144	5,857	24,598	2,235	13,542	8,821	83.2%	65.1%	97.1%	66.4%
令和元年度	20,214	1,357	12,867	5,990	24,273	2,157	13,179	8,937	83.3%	62.9%	97.6%	67.0%

※運転免許保有者数：各年度 12 月 31 日現在 出典：茨城県交通白書

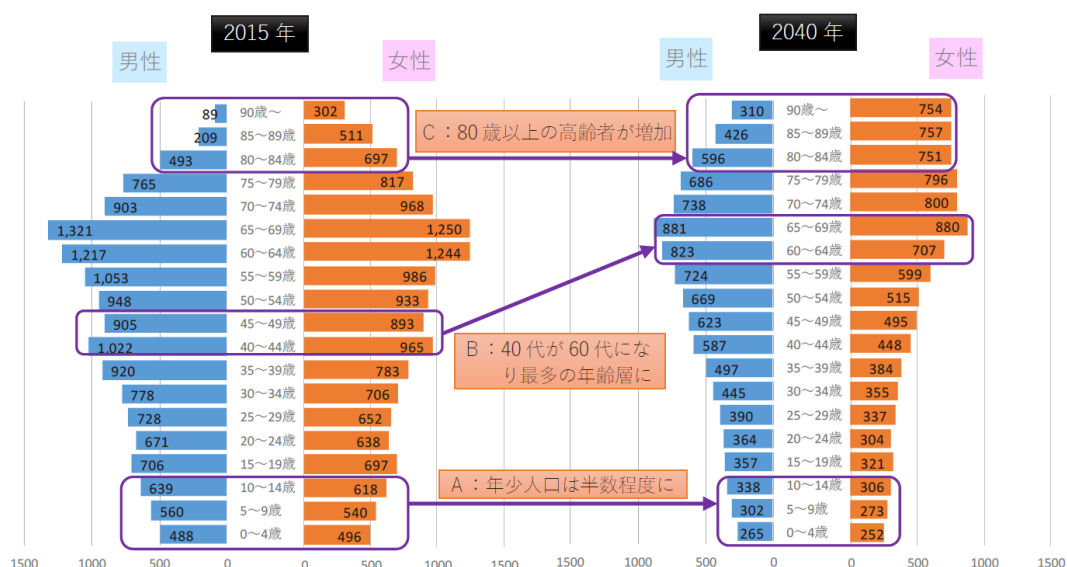
※人口：各年度 1 月 1 日現在 出典：茨城県常住人口調査結果

年代別人口

令和3年1月1日時点の年代別人口では、65歳以上の高齢者が全体の33%を占めています。一方で14歳以下の年少人口は11%であり、少子高齢化が進んでいます。

全国的に若年女性の減少や高齢化の進展が見込まれていますが、本市では全国的な傾向よりも早く若年女性の減少や高齢化の進行が顕在化すると想定され、人口減少とともに人口構造の変化への対応が必要になります。

■男女別5歳階級別人口の変化（2015年と2040年）



【人口の「減少」と「人口構造の変化」による影響】

①人口減少に伴う影響

多くの分野で需要の減少を招く要因となり、生活を支えるサービス、高度な医療サービス等、一定の人口集積を必要とする都市機能の維持が困難になります。

②人口構造の変化に伴う影響

■年少人口の減少に伴う影響（グラフ中のA）

学校の小規模化、児童生徒数の減少など教育環境の変化や、小中学校の統廃合による地域社会への影響が予想されます。

■生産年齢人口の減少に伴う影響（グラフ中のB）

生活を支えるサービスの供給や地域の経済活動に必要な人材が各分野・各地域で確保できなくなり、地域経済活動が制約されることが懸念されます。

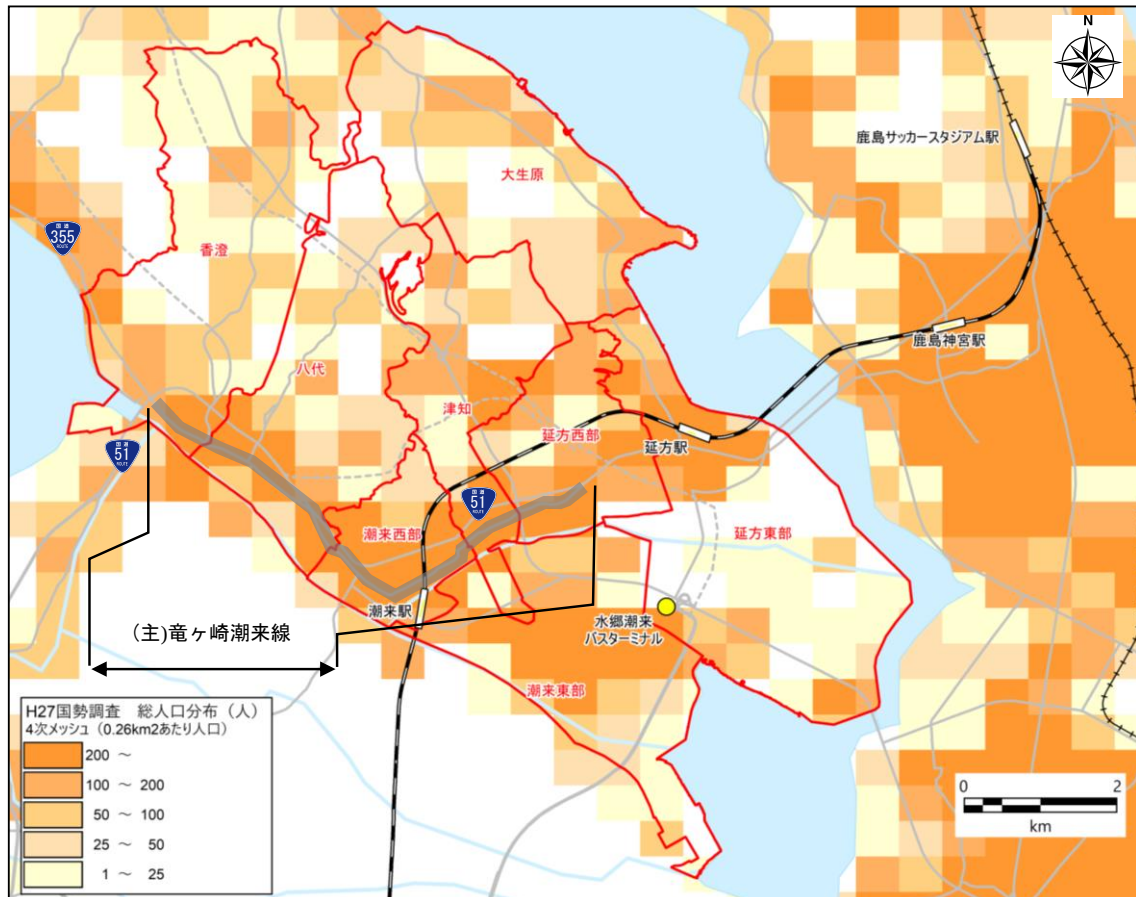
■高齢人口の増加に伴う影響（グラフ中のC）

医療・介護・住まい・公共交通・生活支援等のサービス需要の増加と、地域レベルでの提供ニーズの増加が考えられます。

データ：第2期潮来市人口ビジョン・総合戦略

(1)人口分布

本市全体の人口密度は、407.7人/km²（平成27年国勢調査）となっています。地区別にみると、潮来西部・東部、延方西部・東部等で人口が集中している箇所があり、特に国道51号、主要地方道竜ヶ崎潮来線沿線や鉄道駅周辺の人口が多くなっています。ただし、人口集中地区の条件である4,000人/km²には達していません。



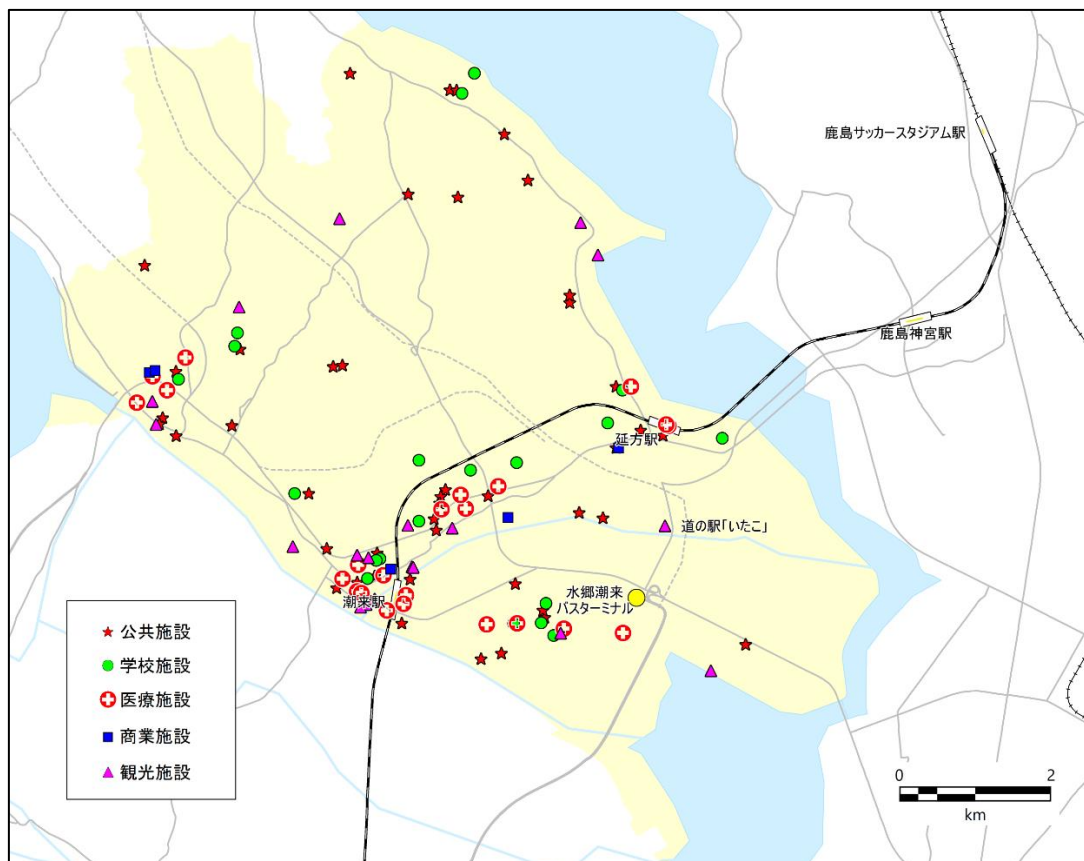
【上図の3D表示 ※北側（行方市側）からの鳥瞰図 上図とは上下が逆なので注意】



データ：平成27年国勢調査（500mメッシュ）より作成

施設分布

本市の公共施設及び学校施設は市内各地域にバランスよく配置されています。一方で医療施設及び商業施設の多くは、人口の集積に合わせ、潮来駅周辺、潮来市役所周辺、日の出地域、延方駅周辺、牛堀地域の市街地部を中心に分布しています。観光施設は水辺空間に立地するものが多くみられます。



公共施設	市役所、公民館、図書館、郵便局、消防署、交番、運動場、市民プール、保健所、税務署、土木事務所、福祉センター、給食センター、特別養護老人ホーム等
学校施設	こども園、小学校、中学校、高等学校、大学研究室
医療施設	診療所、歯科医院
商業施設	スーパータイヨー牛堀店、セイミヤ延方店、セイミヤ潮来店、ショッピングプラザラ・ルー、ベイシアスーパーセンター潮来店
観光施設	WaiWai ファンタジア、上戸川コスモス畑、潮音寺、水郷トンボ公園、道の駅いたこ、白鳥の里、水郷県民の森、素鷲熊野神社、水郷潮来あやめ園、長勝寺、稲荷山公園、水郷北斎公園、権現山公園、二本松寺、愛友酒造、かんぽの宿潮来、十二橋めぐり、津軽河岸あと広場、水郷旧家磯山邸

データ：潮来市ホームページ等より作成

なお、道の駅「いたこ」は平成 30 年度に国土交通大臣の重点「道の駅（当年度全国で 2 箇所）」に選定されました。

また、水郷潮来バスターミナルでは駐車場整備事業（シェルター・駐車場改修等）が進められており、「道の駅及び水郷潮来バスターミナル周辺整備事業」として、自動運転社会実験等の検討が行われています。

2.2 交通の現状

道路網・鉄道網

本市の道路網は、東関東自動車道水戸線、国道 51 号、国道 355 号、主要地方道水戸神栖線が骨格を形成しており、これらを補完する路線として、主要地方道竜ヶ崎潮来線、一般県道の潮来佐原線、大賀延方線、矢幡潮来線、大賀牛堀線、繁昌潮来線が配置されています。東関東自動車道水戸線については、市内に潮来インターチェンジがあり、東京都心等へのアクセスが可能となっています。また、潮来インターチェンジ以北の区間が事業中となっており、行方市との行政界には、(仮称)麻生インターチェンジの設置が計画されています。国道 51 号については、東関東自動車道水戸線に関連して、延方から牛堀を結ぶ潮来バイパスが計画されており、現在是一部区間が事業中となっています。国道 355 号についても潮来市牛堀から行方市麻生を結ぶ牛堀麻生バイパスが計画されており、事業中となっています。

鉄道網は、JR 鹿島線が運行しており、潮来駅と延方駅があります。



本市の公共交通は、鉄道、広域路線バス、高速バスが運行しています。また、高校・中学校・小学校のスクールバス、施設の無料送迎バスが運行しています。

凡例 (※バス括弧内は往復回数)

H27国勢調査 総人口分布(人) 4次メッシュ (0.26kmあたり人口)

200 ~
100 ~ 200
50 ~ 100
25 ~ 50
1 ~ 25

広域路線バス

- 鹿行北浦ライン (6回)
- 神宮あやめ白帆ライン (8回)

高速バス (※R3.10現在)

- 鹿嶋ルート (51回)
- 波崎ルート (2回)
- 麻生ルート (3回)
- 羽田空港ルート (運休)
- 成田空港ルート (運休)
- お台場ルート (2回)

至 東京駅

- 至 東京駅
- 至 東京テレポート駅
- 至 羽田空港
- 至 東京駅
- 至 成田空港

1) 鉄道

本市には、JR 鹿島線潮来駅及び延方駅の 2 駅があり、平日、土日祝日ともに上下線とも 16 本が運行しています。また、潮来駅の平均乗車人員は平成 25 年度から移行減少傾向にあり、コロナ禍の令和 2 年度は前年度の 78%の乗車人員となっています。

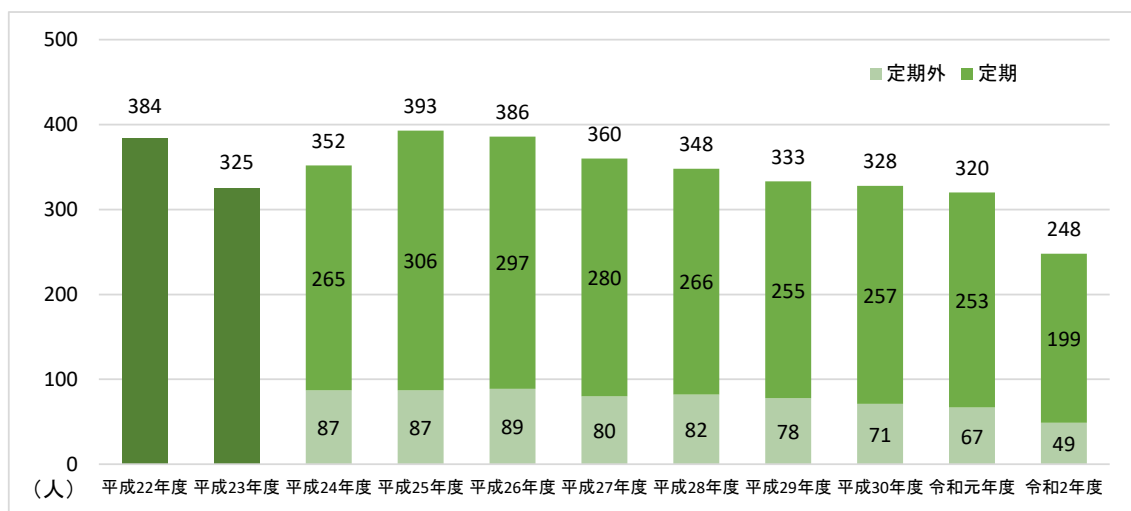
【JR 鹿島線 潮来駅・延方駅の運行本数】※令和 3 年 9 月時点

	平日		土日祝日	
	上り(佐原方面行き)	下り(鹿島神宮方面行き)	上り(佐原方面行き)	下り(鹿島神宮方面行き)
潮来駅 延方駅	16 本	16 本	16 本	16 本

【JR 鹿島線 潮来駅の日平均乗車人員】

区分	2010年度 平成22年度	2011年度 平成23年度	2012年度 平成24年度	2013年度 平成25年度	2014年度 平成26年度	2015年度 平成27年度	2016年度 平成28年度	2017年度 平成29年度	2018年度 平成30年度	2019年度 令和元年度	2020年度 令和2年度
定期外	-	-	87	87	89	80	82	78	71	67	49
定期	-	-	265	306	297	280	266	255	257	253	199
合計	384	325	352	393	386	360	348	333	328	320	248

(単位:人)



データ：JR 東日本 HP(各駅の乗車人員)

2) 路線バス

路線バスは、鹿行北浦ラインと神宮あやめ白帆ラインの2つの広域路線バスが運行しています。

名 称	運行区間	便数 ※1	運行会社
鹿行北浦ライン	道の駅いたこ〜水郷潮来バスターミナル〜潮来駅〜延方駅〜レイクエコー〜セイミヤモール麻生店・カワチ薬品麻生店中央〜麻生庁舎〜あそう温泉「白帆の湯」	6回	関鉄グリーンバス(株)
神宮あやめ白帆 ライン	麻生庁舎〜あそう温泉「白帆の湯」〜ラ・ラ・ルー〜潮来駅〜水郷潮来バスターミナル〜延方駅〜鹿島神宮駅〜チェリオ・イオン	8回	関東鉄道(株) (株)池田交通

※1 便数は往復回数

3) 高速バス

① 運行状況

東京駅や成田・羽田空港等への高速バスについては、6路線が運行しています。ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、高速バスについては現在（令和3年10月時点）2路線が運休、運行している4路線についても大幅な減便となっています。



ルート	起終点	潮来市内停留所	運行事業者	コロナ前	R3.10月現在
鹿嶋ルート	鹿島神宮駅(カシマスタジアム)～東京駅	バスターミナル	・JRバス関東(株) ・JRバステック(株) ・関東鉄道(株) ・京成バス(株)	88往復	51往復
波崎ルート	波崎～東京駅	バスターミナル	・JRバス関東(株) ・関東鉄道(株)	8往復	2往復
麻生ルート	鉾田駅～東京駅	潮来駅 等	・関東グリーンバス(株)	6往復	3往復
羽田空港ルート	鹿島神宮駅～羽田空港第3ターミナル	バスターミナル	・関東鉄道(株) ※京浜急行バス(株)はR3.3.15に撤退	6往復	運休
成田空港ルート	日立駅～ひたちなか・水戸駅～成田空港 ※予約制	バスターミナル	・茨城交通(株) ・千葉交通(株)	6往復	運休
お台場ルート	鹿島神宮駅～東京テレポート駅 ※予約制	バスターミナル	・関東鉄道(株)	4往復	2往復
合計				118往復	58往復

※便数は往復回数。

※かしま号は、一部の便がカシマサッカースタジアムまで運行している。

② 潮来市通勤・通学高速バス定期券等購入費助成事業

潮来市への定住やUJIターンの促進を目的とし、高速バス等を利用して通勤又は通学する市民に対し、当該高速バス定期券等購入費用の一部を助成する事業を実施しています。

＜利用者数及び助成額＞

	通勤	通学	合計	助成額
平成28年度	1人	17人	18人	3,265,159円
平成29年度	4人	29人	33人	5,324,641円
平成30年度	8人	44人	52人	7,696,113円
令和元年度	7人	35人	42人	7,044,149円
令和2年度	8人	12人	20人	1,006,469円

←要綱改正

4) スクールバス

本市及び近隣市の以下の各学校では、登下校時にスクールバスを以下のとおり運行しています。（「路線名称」及び「潮来市内乗降場所」は、令和3年度時点の各スクールバス時刻表等からの抜粋）。

① 小学校

番号	名称
1	潮来小学校
2	津知小学校
3	延方小学校
4	牛堀小学校

② 高等学校スクールバス運行ルート

a. 潮来高等学校

路線名称	潮来市内乗降場所
神栖ルート	延方駅
行方ルート	茂木集落センター前、次郎長前（午後便のみ）、旧方波見病院

b. 麻生高等学校

路線名称	潮来市内乗降場所
②号車ルート	辻(明光義塾)、かすみ保健センター
③号車ルート	小泉、ファミリーマート潮来川尾店、次郎長前（清水入口）
⑦号車ルート	潮来第二中学校前、大賀(軍司大賀 SS)
⑧号車ルート	延方駅（延方郵便局）、セブンイレブン日の出店、潮来駅、富士屋ホテル前、大龍、牛堀けんしん、牛堀交番前

c. 玉造工業高等学校

路線名称	潮来市内乗降場所
3コース 潮来・麻生方面	セブンイレブン日の出店、潮来駅（とん平）、木村スタンド、セブンイレブン永山店

d. 鹿島学園高等学校

路線名称	潮来市内乗降場所
②佐原・牛堀線 （登校便）	JA 牛堀支所、堀内小学校前、茂木消防庫
⑦玉造・日の出線 （登校便） （下校2便）	永山、牛堀支所前、芝宿、横須賀、上戸川台、稲荷山、新潮来、潮来駅、日の出中入口、潮来ボール、大洲、ナイルス入口、セイミヤ前（ウエルシア前）、延方駅入口、地蔵川岸
②佐原・日の出線 （下校1便）	新潮来、潮来駅、日の出中入口、潮来ボール、大洲
③矢幡・東・桜川線 （下校1便）	JA 牛堀支所、堀内小学校前、茂木消防庫
⑦玉造線 （下校1便）	地蔵川岸、延方駅入口、セイミヤ前（ウエルシア前）、ナイルス入口、稲荷山、上戸川台、横須賀、芝宿、牛堀支所前、永山
③矢幡・佐原・東線 （下校2便）	JA 牛堀支所、堀内小学校前、茂木消防庫

e. 清真学園高等学校・中学校

路線名称	潮来市内乗降場所
玉造線	西永山、永山、潮来市商工会前、芝宿・牛堀局前、牛堀中央、横須賀、上戸川台、稲荷山、新潮来、潮来一中、潮来辻小学校、潮来車庫前、須賀、小泉、延方セイミヤ前、追分、地藏河岸
稲敷・東線	牛堀公民館、堀之内、牛堀第二小前、茂木（セブン前）、茂木（大崎商店前）、茂木（Jゴルフ入口）

f. 鉾田第一高等学校・鉾田第二高等学校

路線名称	潮来市内乗降場所
Fコース 北浦西岸線	バス停箇所非公表
Gコース 牛堀・麻生・両宿線	バス停箇所非公表
Hコース 日の出・両宿線	バス停箇所非公表
Lコース 筒井・萩原・白浜線	バス停箇所非公表

5) 無料送迎バス

白十字総合病院無料送迎バス

神栖市賀にある「白十字総合病院」では、通院者を対象とした無料送迎バスを運行しています。

運行区間	便数※	備 考
白十字総合病院～鹿島セントラルホテル～延方駅～曲松～辻郵便局～潮来駅～日の出～白十字総合病院	6回	日曜・祝日・年末年始 運休（6便は土曜運休）

※便数は片回り循環として計測

前計画策定時点では以下の2路線も運行していましたが、廃止となりました。

廃止路線	廃止時期
パルナ無料送迎バス	2020年5月1日休止 2020年7月11日廃止
道の駅いたこ 無料送迎バス	2019年9月29日廃止

6) タクシー

本市には、以下の5つのタクシー事業者があります。5事業者が保有するタクシー台数は合計34台で、4年前（平成29年3月時点）の40台に比べ6台減少しています。

運送収入は平成30年度から令和元年度にかけて若干増加しましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で半減し、令和3年9月時点の利用者数も各運行事業者において新型コロナウイルス感染拡大前に比べて30%～60%程度減少しています。

事業者名	所在地	保有台数 (令和3年9月時点)	
		一般車	ワゴン車
潮来合同自動車(有)	茨城県潮来市潮来 98-15	7台	1台
(有)かすみタクシー	茨城県潮来市潮来 103-2	7台	1台
(有)はなわタクシー	茨城県潮来市宮前 2-25-7	3台	1台
日の出タクシー(有)	茨城県潮来市日の出 1-12-21	6台	—
(有)常南観光タクシー	茨城県潮来市牛堀 105	6台	2台



項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度
輸送回数（回）	値	59,349	59,363	38,910
	増減	1.00	1.00	0.66
輸送人員（人）	値	99,424	97,016	58,372
	増減	1.00	0.98	0.59
税込運送収入（千円）	値	119,152	122,663	66,871
	増減	1.00	1.03	0.56
【参考】高齢者タクシー料金 助成事業助成額（千円）	値	4,588	6,483	5,872
	増減	1.00	1.41	1.28

データ：各事業者への聞き取り調査（令和3年9月）

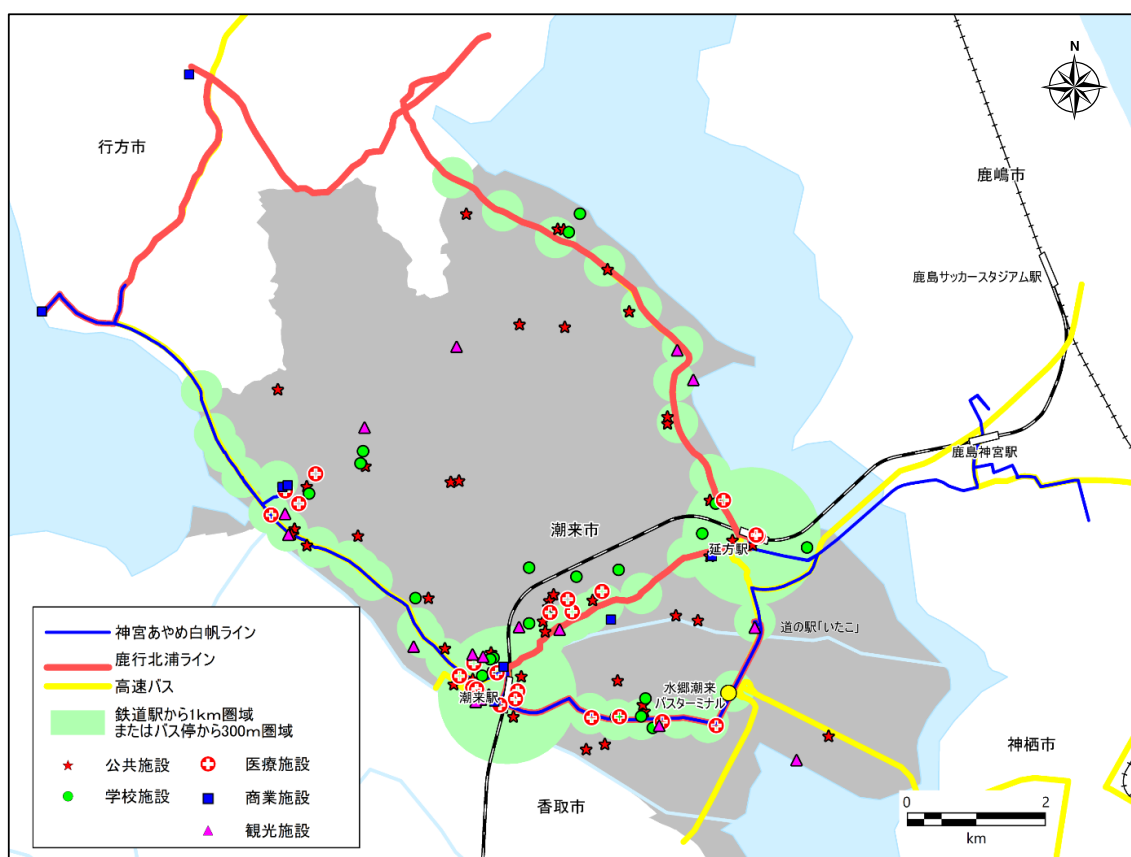
鉄道・バス交通空白地域

鉄道駅から1km以遠、バス停から300m以遠を鉄道・バス交通空白地域とした場合、本市の面積の82%が鉄道・バス交通空白地域に該当し、人口の50%が鉄道・バス交通空白地域に居住していることになります。

鉄道・バス交通空白地域面積	鉄道・バス交通空白地域人口
58.2km ² (71.4km ²)	14,563 人(29,111 人)
81.5%	50.0%

※（ ）内は総面積、総人口を示す。

※人口は平成 27 年国勢調査を用いて算出



3. 上位・関連計画

上位・関連計画の概要は次のとおりです。

3.1 茨城県計画

茨城県総合計画「新しい茨城」

策定年月	平成 30 年 11 月
計画期間	平成 30 年度～令和 3 年度 ※将来構想は 2050 年頃を展望
公共交通に関する記述	■県土を支える社会基盤（インフラストラクチャー） ○広域交流と地域間連携を支えるネットワークの構築 ○三大都市圏とのアクセス性向上と県内波及 ■政策 9 安心して暮らせる社会 施策（１）地域公共交通の維持確保 ①市町村や交通事業者等との連携により持続可能な公共交通ネットワークを形成 ②市町村等が運行するデマンド型乗合タクシーや自家用有償旅客運送などによる輸送サービスの導入を促進 ③交通拠点のバリアフリー化やノンステップバスの導入などによる誰もが移動しやすい交通環境の実現 ■政策 20 活力を生むインフラと住み続けたいまち 施策（１）未来の交通ネットワークの整備 ⑤自動運転等の研究開発及び実用化に必要な実証実験の実施等に対する支援 ■鹿行地域の地域づくりの取組 ・東関東自動車道水戸線の全線開通に向けた整備促進 ・公共交通の確保や医療・保険・福祉サービスの充実など地域環境の整備

潮来都市計画（潮来市）都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

策定年月	令和 3 年 9 月 2 日告示
公共交通に関する記述	■交通体系整備方針 a 基本方針 ア 交通体系の整備方針 ・道路交通の混雑を緩和し都市環境の改善を図るため、JR 鹿島線、路線バスなど公共交通機関の積極的な利用を促すなど、総合的な交通体系の構築を推進する。 ・コンパクト＋ネットワークを推進するため、バスなどの公共交通機関と連携するとともに、河川や湖岸の堤防などを活用した安全で人と環境にやさしい自転車・歩行者ネットワークの整備やにぎわいのある歩行空間の形成を図るなど、誰もが安心して快適に外出や移動ができる交通環境の充実やあるきたくするまちなかの創出を図る。 ■b 主要な施設の配置の方針 4) その他 ・駅前広場の整備を促進するとともに、駅舎や駅周辺における交通施設等バリアフリー化を図る。 ・駐車場の整備を進め、中心市街地の利便性向上を図るとともに、パークアンドライドへの対応により公共交通機関の利用を促進する。

いばらきの都市づくり状況と今後の方向性

策定年月	平成 26 年 12 月
公共交通に関する記述	将来都市構造として【集約と構造】～「コンパクトな都市とメリハリの ある地域」の連携～を掲げており、下記の視点が挙げられている ①都市の集約化と活発化 ②地域の個性ある発展と相互連携の強化 ③連携と交流を支えるネットワークの構築 ④自然環境の保全と共生

茨城県広域道路交通計画

策定年月	令和 3 年 6 月
計画期間	令和 2 年度～令和 31 年度
公共交通に関する記述	■広域的な交通の課題と取組 (4) 活力を生むインフラと住み続けたいまちづくり 【取組⑦】 - 交通結節点の周辺におけるバリアフリー化等により利用者が多様な交通を利用・選択しやすい環境の維持と向上を図る。 【取組⑨】 - 地域の需要や特性に合わせた道路交通の課題を抽出し、自動運転システムを活用した移動手段を構築していく取組を促進する。 【取組⑩】 - 鉄道駅や空港からの 2 次交通の充実を促進するなど、交流拡大を支援する交流・観光拠点間の移動を円滑にする道路ネットワークの整備を図る。 - 来訪者（訪日外国人）の満足度向上に資する案内標識の多言語化、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」などサイクリング環境の整備等、道路環境の整備を図る。

3.2 潮来市計画

潮来市第 7 次総合計画基本構想

策定年月	令和 2 年 3 月
計画期間	令和元年度～令和 10 年度
公共交通に関する記述	〇これからのまちづくりに向けた 4 つの要素ネットワーク 交通インフラ、情報インフラにより、生活圏の広域化に対応した利便性、即時性を備えます。

潮来市第 7 次総合計画前期基本計画

策定年月	令和 2 年 3 月
計画期間	令和元年度～令和 5 年度
公共交通に関する記述	重点分野 3-1 市民が潮来での生活を愉しむことができる環境を創出 施策 7-3-5 公共交通の充実 【取組方針】 「潮来市地域公共交通網形成計画」等に基づく公共交通利用促進 「水郷潮来バスターミナルハブ化構想」に基づくバス路線網充実 「水郷潮来バスターミナル周辺整備構想」等に基づく駐車台数の確保及び高速バスと路線バスの利便性向上 - 高速バスの通勤・通学や観光分野での活用促進

潮来市都市計画マスタープラン

策定年月	平成 21 年 3 月
計画期間	計画目標年次：平成 37 年
公共交通に関する記述	○「5. 道路・交通の方針」 - 公共交通の充実に向け、新規交通システムの導入、茨城空港との連携バス等の運行を支援する幹線道路ネットワークの構築 ○「9. バリアフリーの方針」 - 駅周辺について、公共交通の利便性向上を図るとともに、交通結節環境の向上を図るため、段差解消や案内機能の充実を推進

第 2 期潮来市人口ビジョン・総合戦略

策定年月	令和 2 年 3 月
計画期間	人口ビジョン：2060 年 総合戦略：2020 年度～2024 年度
公共交通に関する記述	■総合戦略 基本目標 1 ○施策 7 道の駅いたこ整備事業 - DMO と連携した観光の周遊拠点としての整備 - 子育て世代の機能充実や防災拠点としての機能強化 ○施策 30 広域公共交通のネットワークの利用促進 - 公共交通を必要とする人が利用できる環境の創出 - 駅及び水郷潮来バスターミナルを拠点とする公共交通網の形成 ○施策 31 都心への高速バス等を通勤・通学者への助成 - 高速バスを利用した東京への通勤・通学助成・拡充 ○施策 32 水郷潮来バスターミナル駐車場利用の市民負担軽減 - 駐車場の増設や市民が利用する際の負担の軽減

潮来市国土強靱化計画

策定年月	令和 2 年 3 月
計画期間	令和元年度～令和 5 年度
公共交通に関する記述	■個別分野の推進方針 (公園、幹線道路の整備等) ○幹線道路の整備を通じた「交通拠点の活性化」「交通ネットワークの充実」「サッカースタジアムからの渋滞緩和」 ○「道の駅いたこ」に接している県道の国道への昇格を図り、道の駅いたこと水郷潮来バスターミナル再整備を一体的に進め、自動運転の実証実験や防災広場(公園)、パーク&バスライドの拠点の整備を実施 ○ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」周辺(水郷潮来バスターミナル)等にサイクルステーションを整備 ■数値目標 - 水郷潮来バスターミナルの路線バス発着本数(高速バス含む) 249 本(R1)→260 本(R5) - 水郷潮来バスターミナルの機能強化(駐車場拡張・情報棟改築・バスレーン増設) 再整備開始(R1)→再整備完了(R3) - 自動運転の実証実験 未整備(R1)→実証実験運行開始(R3) (道路ネットワークの構築) - 公共交通の充実を図り、災害発生時の道路ネットワークの結節点とするため、社会資本整備総合交付金により水郷潮来バスターミナルの整備を推進する

潮来市観光振興計画

策定年月	令和元年 12 月
計画期間	令和2年度～令和6年度
公共交通に関する記述	■将来像（具体的施策） 施策1 空港での空き時間を利用した外国人観光客の誘致 取組：外国人観光客向けの潮来の魅力商品開発、交通利便性の告知、宿泊費や飲食費の支払方法の多様化対応（カードやキャッシュレス） 施策3 まちなか観光 周遊ガイド 取組 ・道の駅いたこ・あやめ園・前川・津軽河岸あと広場・バスターミナルとろ舟・嫁入り舟等を活用したまちなか観光拠点等の連携及び整備 ・多様なまちなか周遊ルートと施設のバリアフリー化 ・自転車利用への積極的な対応 施策4 道の駅いたこと風景街道の連携 ・まちなか観光拠点の整備および前川（河岸）や道の駅いたこ、鰯川へ通じる水路を活かした観光ネットワーク ・重点道の駅・日本風景街道による観光拠点の形成および機能強化 ・サイクリング対応施設の整備 施策6 分かりやすい案内標識 主な取組 ・観光等スポットを繋げる案内ルート、マップやカーナビとの連動、ピクトグラムを採用 ・案内標識のローマ字化

潮来市学校適正化実施計画

策定年月	令和2年3月
計画期間	令和2年度～令和6年度
公共交通に関する記述	・小学校、中学校の統合に伴い、児童・生徒の通学の負担軽減を図るため公共交通機関の活用やスクールバス等の新たな通学手段を用意している。 ・スクールバスの運行範囲について、小学校ではおおむね通学距離が2km超の圏域。中学校では、通学路の状況・距離などに応じてスクールバス等の導入を検討している。

高齢者タクシー利用料金助成事業

事業開始	平成 30 年 6 月
助成内容	1 枚 5 0 0 円分のタクシー助成券を年間 4 8 枚交付 ※ただし、年度後半（1 0 月～翌年 3 月末まで）に申請された場合は、タクシー助成券 2 4 枚の交付となる。 ※助成券の有効期限は当該年度の 3 月 31 日まで。 ※助成券の利用区間は乗降場所のいずれかが潮来市内の場合に限る。
対象者	以下のいずれにも該当する方 ①潮来市内に住民登録をされている方 ②申請時において満 7 5 歳以上の方 ③原動機付自転車などを含むすべての運転免許を保有していない方 ④潮来市福祉タクシー事業において、利用券の交付を受けていない方 ⑤介護保険の施設等に入所等されていない方 ※本市における 75 歳以上人口（令和 3 年 1 月 1 日時点）は 4,321 人。茨城県における「75 歳以上の運転免許保有率（令和 3 年 1 月 1 日時点）」は 43.0%であることから、対象者数は 2,500 人程度（$\approx 4,321 \times 0.57$）と推定される。
利用できる タクシー 事業者	潮来市内のタクシー事業者（5 事業者）に限る。 日の出タクシー有限会社、潮来合同自動車有限会社、有限会社かすみタクシー、有限会社はなわタクシー、有限会社常南観光タクシー
助成券の 使用方法	①利用者記載欄へ住所、氏名を記載する。 ②行き先が決まったら、利用目的の該当する項目をマルで囲む。 ③乗車の際に運転手へ「助成券を使用する」旨を伝える。 ④助成券を運転手に手渡し、併せて本人確認書類（後期高齢者医療被保険者証等）を提示する。 ⑤精算時に 500 円が差し引かれるので、差額を支払う。 ※助成券は 1 乗車につき 1 人 1 枚分利用できる。助成券保持者 2 人が相乗りでタクシーに乗車した場合、助成券を 1 人 1 枚ずつ使用（合計 1,000 円分を支払いに充当）できる。

潮来市高齢者タクシー利用料金助成券

※この助成券で運賃の一部（最大500円）を助成します。

利用者記載欄	住 所	潮来市		
	氏 名		登録番号	0001
	利用目的 (○で囲む)	1 通院	2 買物	3 会合 4 その他 ()

—発行者— 潮来市長

有効期限 2020年 3月31日まで



運転者記載欄	乗車日	月	日	運転者名	
	時 間	1 早朝～10時	2 10時～12時	本人確認	
		3 12時～14時	4 14時～16時		
		5 16時～夜間			
区 間	～				
料 金	円	同時使用	無・有 () 枚		
事業者名					

4.2 利用状況

(1) 広域路線バス

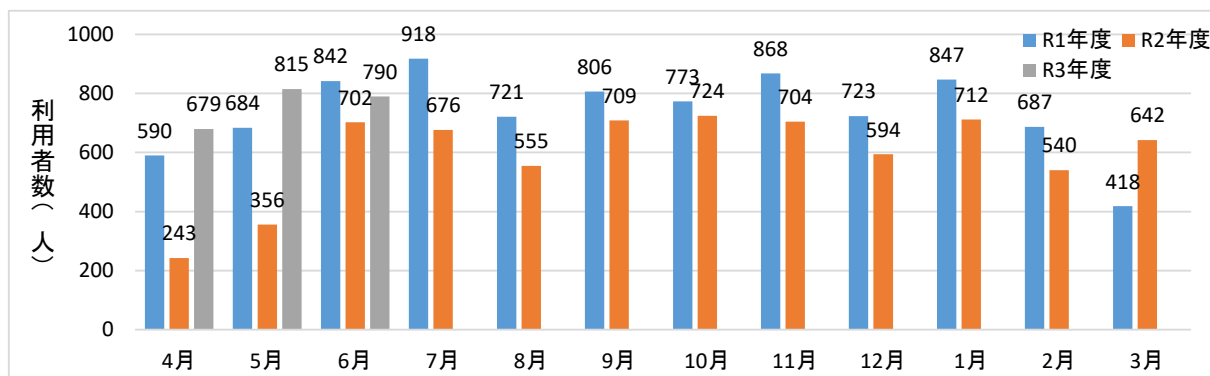
1) 月別利用者数

鹿行北浦ラインについては、令和2年4月・5月（最初の緊急事態宣言発令中）の利用者数が前年同時期に比べ半減し、令和2年6月～令和3年2月の間は前年同時期の8割程度で推移しています。

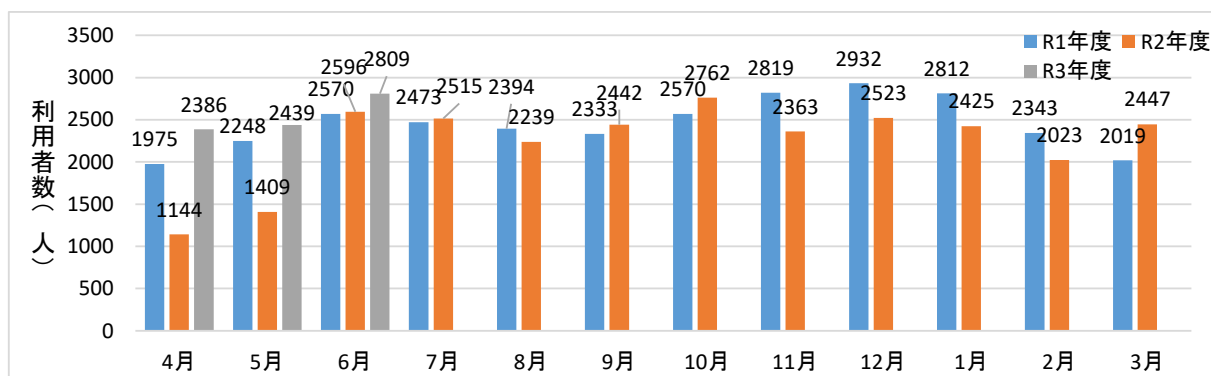
神宮あやめ白帆ラインについても、令和2年4月・5月（最初の緊急事態宣言発令中）の利用者数が前年同時期の6割程度に減少したものの、令和2年6月～10月の間は前年同時期と同数程度に回復しています。その後、再び新型コロナウイルスの感染拡大がみられた令和2年11月～令和3年2月の間は、前年同時期の8割～9割程度で推移しています。

両路線とも、令和3年度の利用者数は令和元年度（コロナ前）の水準に回復しています。

○鹿行北浦ライン月別利用者数（単位：人）



○神宮あやめ白帆ライン月別利用者数（単位：人）

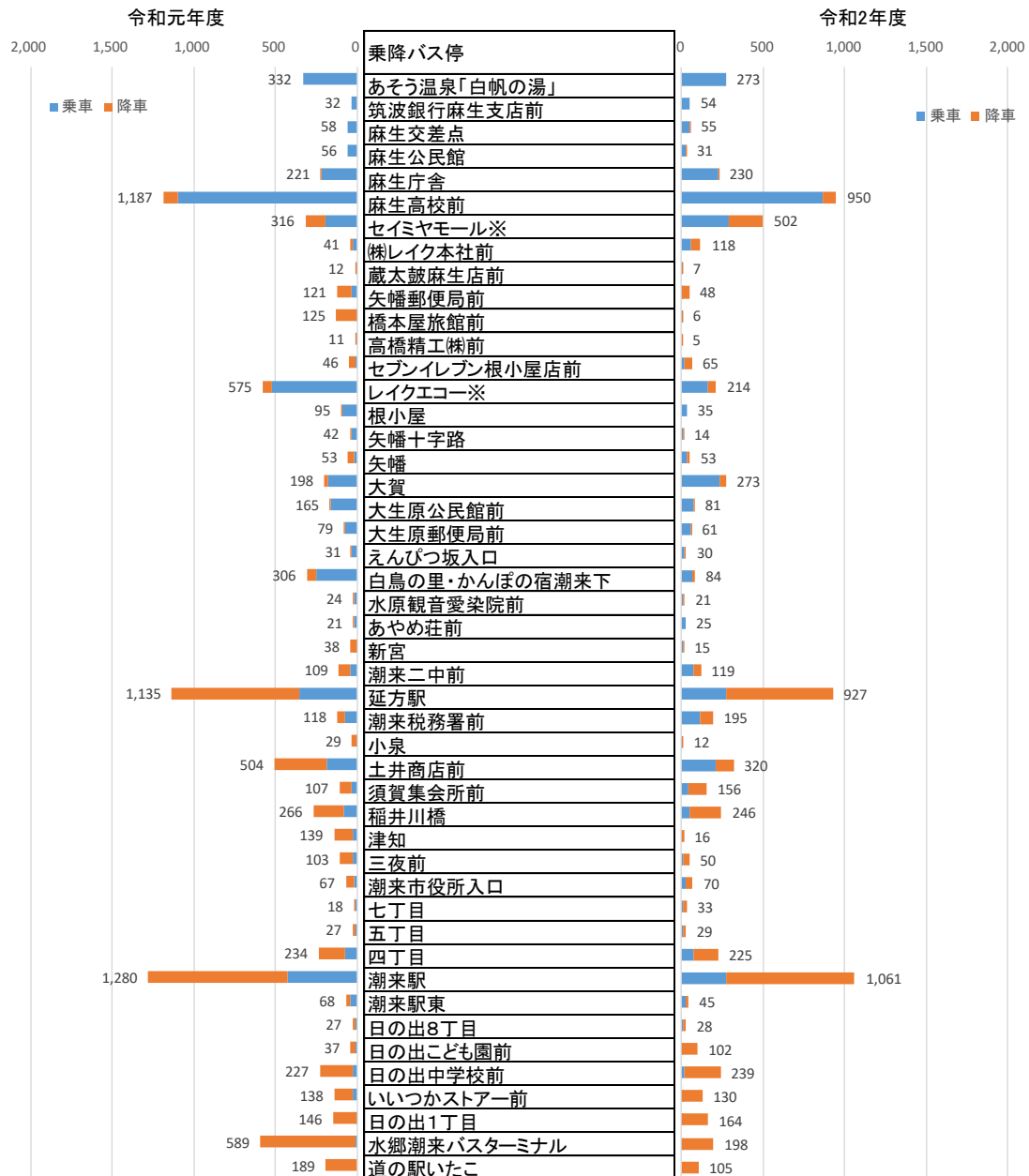


2) 停留所別利用者数

① 鹿行北浦ライン（道の駅いたこ方面）

麻生高校前、延方駅、潮来駅での乗降者数多くなっています。

令和元年度（コロナ前）と令和2年度との比較においては、多くの停留所において減少しており、特にレイクエコー、白鳥の里・かんぼの宿潮来下、水郷潮来バスターミナルでの減少が目立ちます。一方でセイミヤモールでは1.6倍に増加しています。



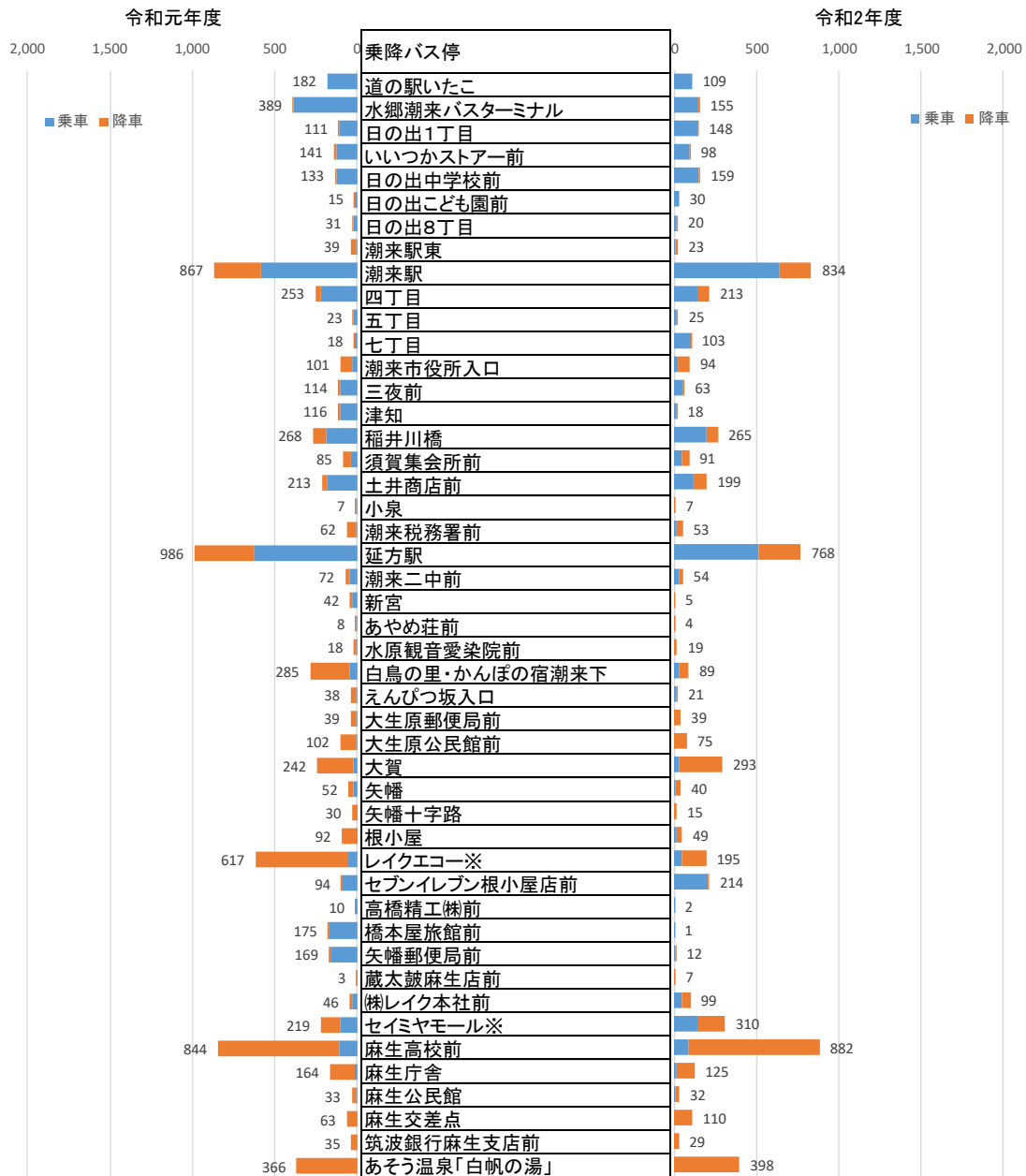
※レイクエコー＝レイクエコー・白浜少年自然の家・なめがたファーマーズヴィレッジ中央

※セイミヤモール＝セイミヤモール麻生店・カワチ薬品麻生店中央

②鹿行北浦ライン（あそう温泉「白帆の湯」方面）

潮来駅、延方駅、麻生高校前での乗降者数多くなっています。

令和元年度（コロナ前）と令和2年度との比較においては、多くの停留所において減少し、特に水郷潮来バスターミナル、白鳥の里・かんぼの宿潮来下、レイクエコーでの減少が目立ちます。一方でセイミヤモールでは1.4倍に増加しています。



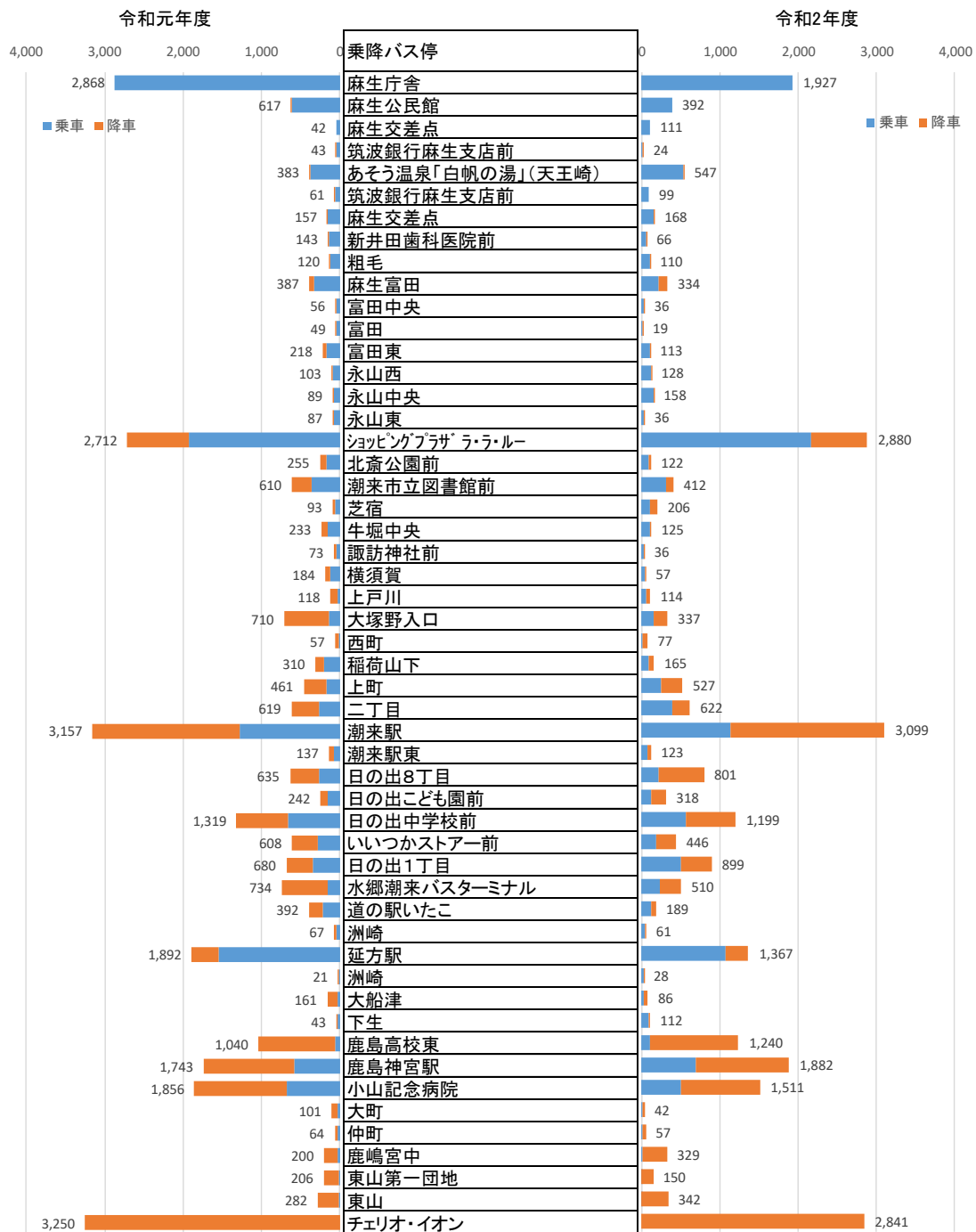
※レイクエコー＝レイクエコー・白浜少年自然の家・なめがたファーマーズヴィレッジ中央

※セイミヤモール＝セイミヤモール麻生店・カワチ薬品麻生店中央

③神宮あやめ白帆ライン（チェリオ・イオン方面）

麻生庁舎、ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー、潮来駅、日の出中学校前、延方駅、鹿島高校東、鹿島神宮駅、小山記念病院、チェリオ・イオンでの乗降者数が多くなっています。

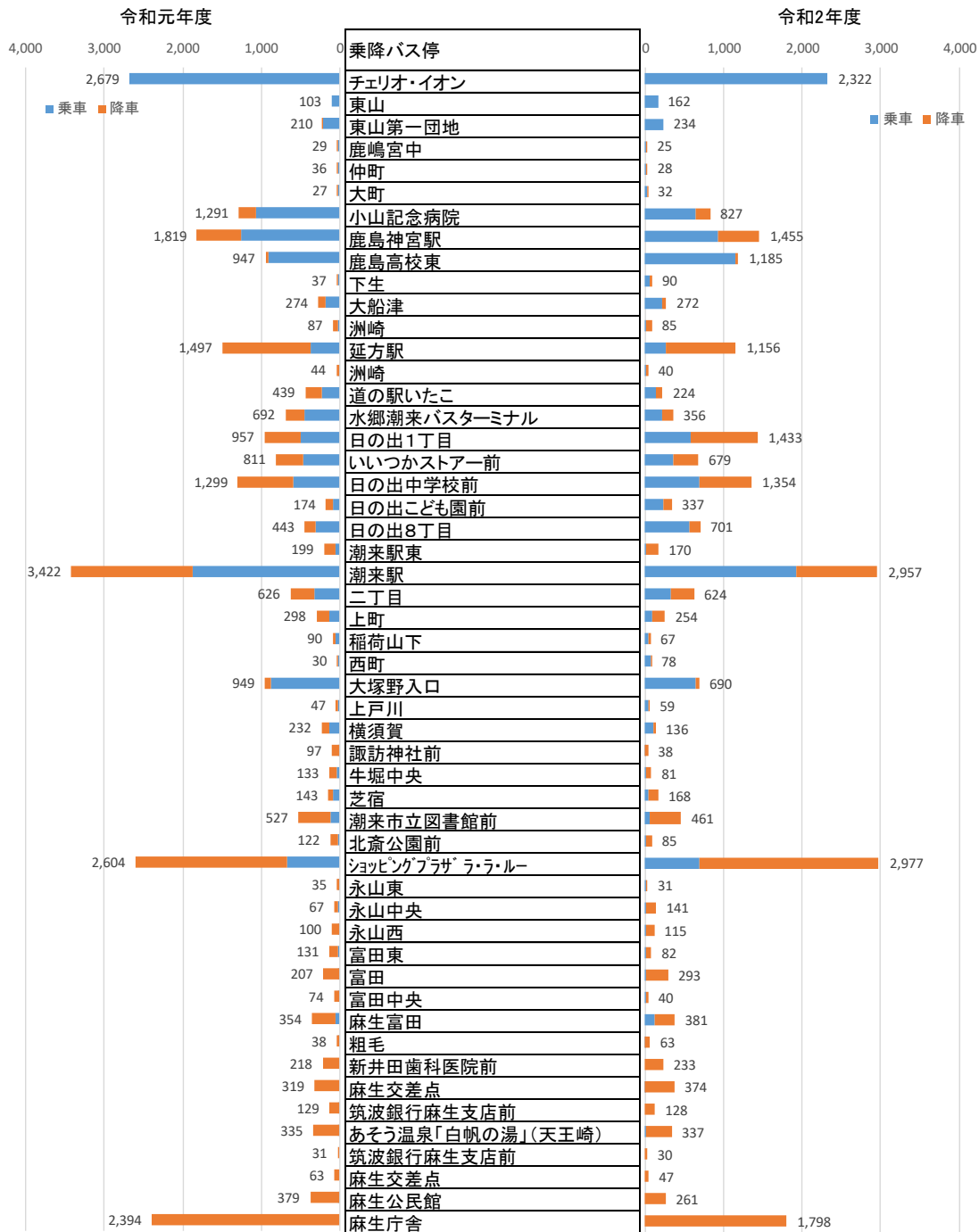
令和元年度（コロナ前）と令和２年度との比較においては、多くの停留所で減少し、特に麻生庁舎、延方駅、チェリオ・イオンでの減少が目立ちます。一方で鹿島高校東は１．２倍に、ショッピングプラザ ラ・ラ・ルーでは１．１倍に増加しています。



④神宮あやめ白帆ライン（麻生庁舎方面）

チェリオ・イオン、小山記念病院、鹿島神宮駅、延方駅、日の出中学校前、潮来駅、ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー、麻生庁舎での乗降者数が多くなっています。

令和元年度（コロナ前）と令和2年度との比較においては、多くの停留所で減少し、特に小山記念病院、鹿島神宮駅、延方駅、潮来駅、麻生庁舎での減少が目立ちます。一方でショッピングプラザ ラ・ラ・ルーでは1.1倍に増加しています。

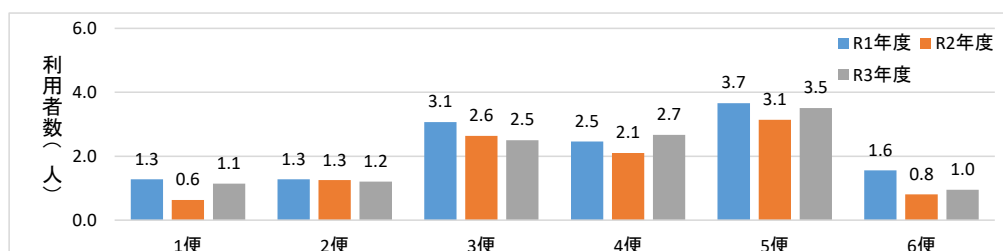


3) 便別利用者数

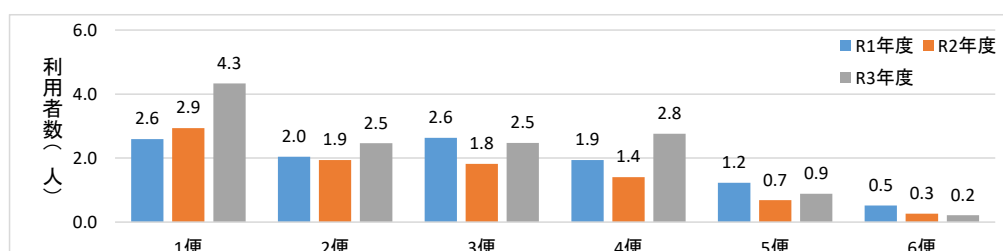
鹿行北浦ラインについては、令和2年度の利用者数は大半の便において令和元年度の利用者数を下回っており、特に上り6便（0.8人/日 減）、下り3便（0.8人/日 減）での減少が目立ちます。

神宮あやめ白帆ラインについても、令和2年度の利用者数が令和元年度の利用者数を下回る便が多く、特に上り7便（2.3人/日 減）、下り1便（1.6人/日 減）での減少が目立ちます。

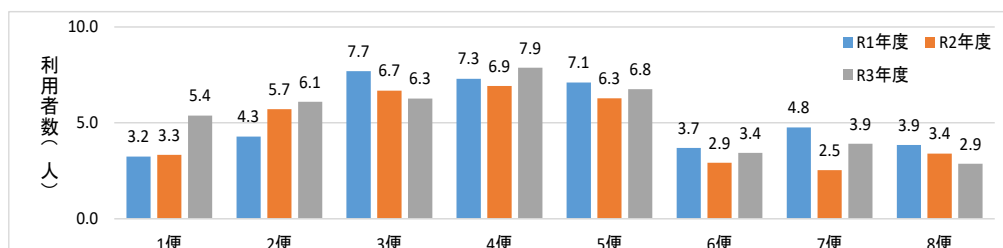
①鹿行北浦ライン（道の駅いたこ方面）



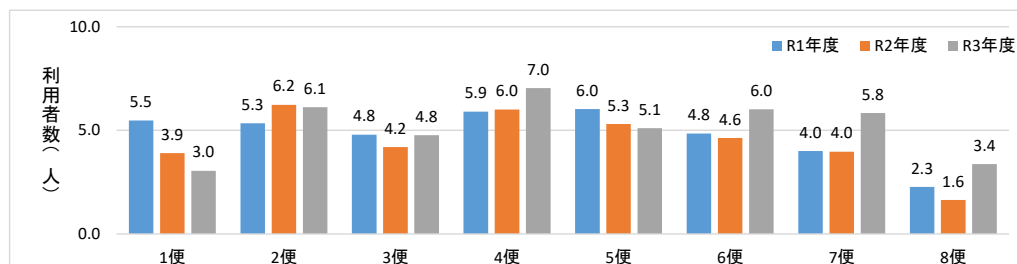
②鹿行北浦ライン（あそう温泉「白帆の湯」方面）



③神宮あやめ白帆ライン（チェリオ・イオン方面）



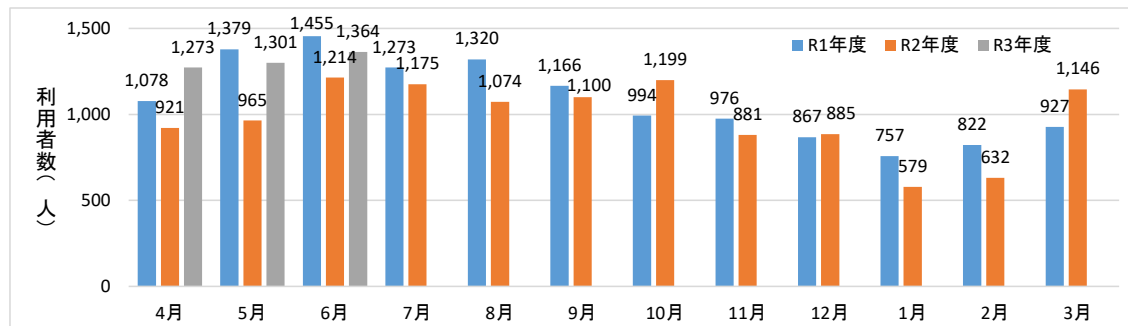
④神宮あやめ白帆ライン（麻生庁舎方面）



(2) 高齢者タクシー利用料金助成事業

1) 月別利用者数

令和2年度（コロナ禍）の利用者数は、10月、12月、3月を除き、令和元年度を下回っています。



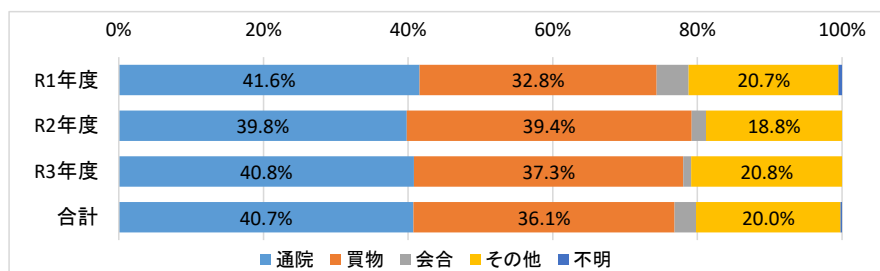
2) 目的別・曜日別・乗車時間利用者数

平日と土曜日は通院・買物目的での利用者数が多く、合わせて77%を占めています。

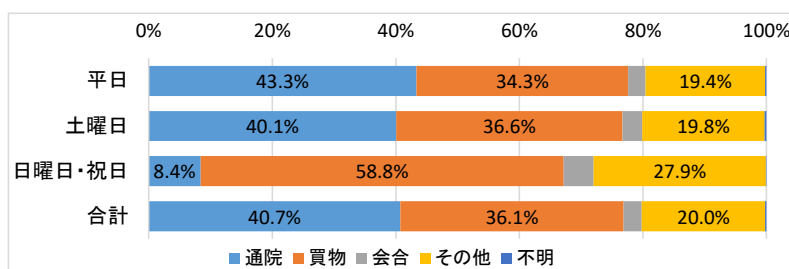
日曜日・祝日は買物目的での利用者数が多く、59%を占めています。

全体として午前中の利用が多く、特に通院目的では午前中の利用者数が65%を占めています。

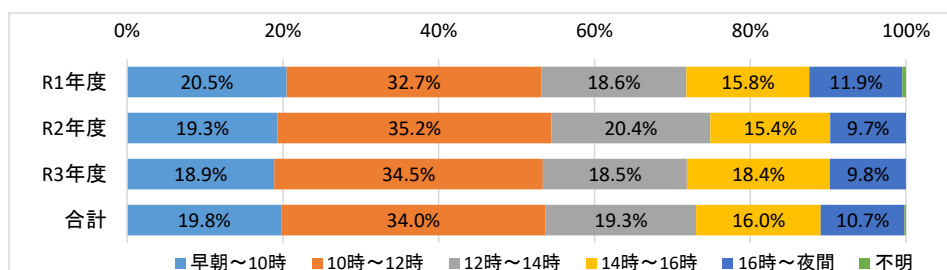
○目的別利用者数



○曜日別利用者数



○乗車時間別利用者数



4.3 利用実績の概況

利用実績は以下のとおりです。

名称		鹿行北浦ライン	鹿行広域路線バス (神宮あやめ白帆ライン)	高齢者タクシー料金 助成事業
利用者数	全日平均	22人/日	78人/日	35人/日
	土日 ※全日 に対する割合	土曜：98% 日曜・祝日：77%	土曜：91% 日曜・祝日：68%	土曜：77% 日曜・祝日：46%
	天候 ※同上	雨：84%	雨：85%	雨：86%
平均乗車 距離 (R2)		上り：11.5km 下り：11.6km	上り：9.6km 下り：9.0km	3.6km (※料金より推定) ※2km以内が4割
相乗り状況 (R2)		キロ当たり輸送人キ ロ： 上り0.7人、下り 0.6人	キロ当たり輸送人キ ロ： 上り1.6人、下り 1.4人	1人利用：90.9% 2人利用：8.5%
利用特性		- 平日は麻生高校生が1日10人弱(乗降計)利用 - 麻生高校以外では、潮来駅、延方駅での乗降が多い	- 平日は鹿島高校生が1日10人弱(乗降計)利用 - 平日朝は毎日5人弱の学生が麻生庁舎で降車 - 上記以外では商業施設、駅、病院が多い	- 通院利用が41% - 市内利用が90%、市外の4割は鹿嶋市への通院(小山記念病院等) - 平均利用料金 1263円(通院1419円、買物1037円)
財政負担 (R2年度)		運行経費： 2920万円 市負担額： 956万円 収支率：4.9%	運行経費： 4895万円 市負担額： 1260万円 収支率：13.2%	助成額：587万円
コロナ影響		R2/R1=81% (R3は回復傾向) ※水郷潮来BT、白鳥の里、レイクエコーでの減少が目立つ。 セイミヤモールは1.5倍に増加	R2/R1=91% (R3は回復傾向) ※麻生庁舎、延方駅、チェリオ・イオンでの減少が目立つ。 ラ・ラ・ルーは1.1倍に増加	R2/R1=90% (R3は回復傾向) ※一般タクシーの状況 収入：R2/R1=55%、 1台当たり乗車人数：1.63人→1.50人
まとめ		麻生高校生の通学利用及び地域住民の買物・娯楽の足として活用されている。コロナの影響で観光利用が減少(日祝日利用者はコロナ前の3割減)。	高校生(鹿島・麻生)の通学利用及び地域住民の買物(イオン、ラ・ラ・ルー等)・通院(小山記念病院等)・娯楽の足として活用されている。	一般タクシー(R1の平均利用料金2066円)に比べ利用距離が短く、通院・買物の足として活用されている。

※利用者数の集計期間は平成31年4月～令和3年6月

5. 現行計画のフォローアップ

現行計画の事業実施状況、目標値の達成状況は次のとおりです。

計画目標	計画目標1			
目 標	①既存路線バスの利用者増	②新規路線バスの導入による公共交通利用者増		
評価指標	鹿行北浦ラインの利用者数	①新規路線バス（潮来市内循環区間）の利用者数	②新規路線バス（潮来市中心部～行方市区間）の利用者数	③ハブ化路線の運行路線数
目標値	75人／日以上	105人／日以上	220人／日以上	1路線
事 業	鹿行北浦ラインの利便性の向上及び継続的な運行	①市内主要拠点・市街地間及び西浦側を連絡する路線バスの運行		②水郷潮来バスターミナルハブ化路線（水郷潮来バスターミナル～鹿嶋、神栖、香取、稲敷、行方、鉾田方面等）の運行
事業の実施状況	○	○		○
	平成31年4月に路線再編を実施し、運行を継続している。	平成30年1月に「白帆・あやめライン（延方駅～潮来駅～麻生庁舎）の運行を開始（平成31年4月に路線再編）」		平成29年8月に「神宮・あやめライン（チェリオ・イオン～潮来市内）」の運行を開始（平成31年4月に路線再編）」
目標値の達成状況	×	×		
	22人／日（路線再編後の平均値）	平成31年4月より2路線を統合した「神宮あやめ白帆ライン」を運行		
検討方針	運行形態の再検討	利用促進		

計画目標	計画目標2	
目 標	①フィーダー交通導入による公共交通利用者増	②フィーダー交通利用者の利用促進に伴う新規支線バス需要の創出
評価指標	①公共交通空白地域面積・人口	②フィーダー交通の利用者数
目標値	0%	55人／日以上
事 業	潮来市型フィーダー交通（一般タクシー利用補助）の導入	フィーダー交通利用者増に伴う新規支線バスの導入
事業の実施状況	△	×
	平成30年6月より高齢者タクシー利用料金助成事業を開始（※利用対象者を運転免許を持たない75歳以上に限定）	未実施
目標値の達成状況	×	—
	35人／日（平成31年4月以降の平均値）	—
検討方針	補助対象の拡大（公共交通空白地域の解消）	新規定路線の運行が適切な地域が存在しないため、現時点では実施の必要なし

計画目標	計画目標3			
目 標	①乗継促進施策の導入による乗り継ぎ利用者の創出	②商業施設等との連携による公共交通利用者増		
評価指標	幹線交通とフィーダー交通との乗り継ぎ利用者数	①公共交通利用促進施策の協力施設数	②公共交通による来店者への商品割引等に関する協力施設数	③公共交通運営協賛金等の協力施設数
目標値	25人／日以上	9施設	3施設	2施設
事 業	幹線交通とフィーダー交通との乗継運賃制度の導入	①商業施設等との連携による公共交通利用促進施策の実施	②商業施設等との連携による公共交通運賃相当の商品割引等の実施	③商業施設等との連携による公共交通運営協賛金等の協力
事業の実施状況	×	△	○	×
	未実施	未実施（「チェリオ・イオン」「ラ・ルー」敷地内への乗り入れは実施）	「広域路線バス利用者特典制度（バス利用者に商業施設等から特典を進呈）」を実施中	未実施
目標値の達成状況	—	—	○	—
	—	—	10施設にて制度を運用中（令和2年12月時点）	—
検討方針	バス運賃は通常よりも安価に設定しており、更なる値引きは困難	大規模商業施設等におけるバス待ち空間の整備	対象施設の拡大と制度の周知	協力依頼の継続（実施メリットの提示）

計画目標	計画目標3			
目 標	③各種移送サービスからの転換等による公共交通利用者増		④モビリティマネジメントの実施による公共交通利用者増	
評価指標	各種送迎バスからの公共交通転換施策の実施数		①二次交通の公共交通利用転換者数 ②モビリティマネジメント実施回数	
目標値	3路線		5人／日以上	通算2回／年以上
事 業	①高校生の利便性向上を目的とした高校スクールバスとの連携	②各無料送迎バスとの連携	①鉄道・高速バス利用者（市民）へのモビリティマネジメントの実施	②来街者（通勤、観光）へのモビリティマネジメントの実施
事業の実施状況	○	×	×	○
	鹿行北浦ラインに麻生高校前バス停を新設（※1）	未実施（無料送迎バスは3路線中2路線が廃止）	未実施	潮来市公共交通利用ガイド（2019年4月版）を作成・配布
目標値の達成状況	○	—	—	△
	両方向で約10人／日利用	—	—	1回のみ実施
検討方針	利用者（通学生）ニーズの把握と連携強化	アフターコロナにおける無料送迎バス再開に合わせた連携実施	「潮来市通勤・通学高速バス定期券等購入助成事業」利用者を対象とした利用促進	定期的な情報更新・配布

6. 地域公共交通の課題、基本方針、計画目標

6.1 地域公共交通の課題

現況分析、上位関連計画の整理結果より、地域公共交通の課題は次のとおりです。

課題1 公共交通ネットワークの確保維持

公共交通ネットワークの形成については現計画において最も重要な目標であり、鹿行北浦ライン及び神宮あやめ白帆ラインが運行されています。両路線合計で1日平均100人に利用されていますが、交通軸として持続していくためにはさらなる利用者数の増加、収支の改善が必要です。また、運賃収入以外による収入の工夫も必要です。公共交通ネットワークをいかに維持していくかが課題となっています。

課題2 公共交通空白地域の移動の確保維持

現計画において高齢者タクシー利用料金助成事業を開始し、1日平均35人に利用されています。ただし、コロナ禍の影響もあり、利用申請者は補助対象者の約30%にとどまっており、利用しやすさの改善が課題となっています。また、コロナ禍において市内のタクシー需要は激減し、感染が収束傾向にある令和3年9月時点においても回復しておらず、タクシー事業の維持も課題となっています。

課題3 交通拠点機能強化による地域活性化

現在、道の駅「いたこ」（※国土交通省重点道の駅に選定）及び水郷潮来バスターミナルにおいて拠点整備事業が実施されており、両拠点を結ぶ自動運転車両の運行についても検討されています。上位計画が目指す定住促進やアフターコロナの観光振興等の観点から、水郷潮来バスターミナルと道の駅の交通拠点機能を高め、地域を活性化することが課題となっています。

課題4 社会要請や価値観多様化への対応

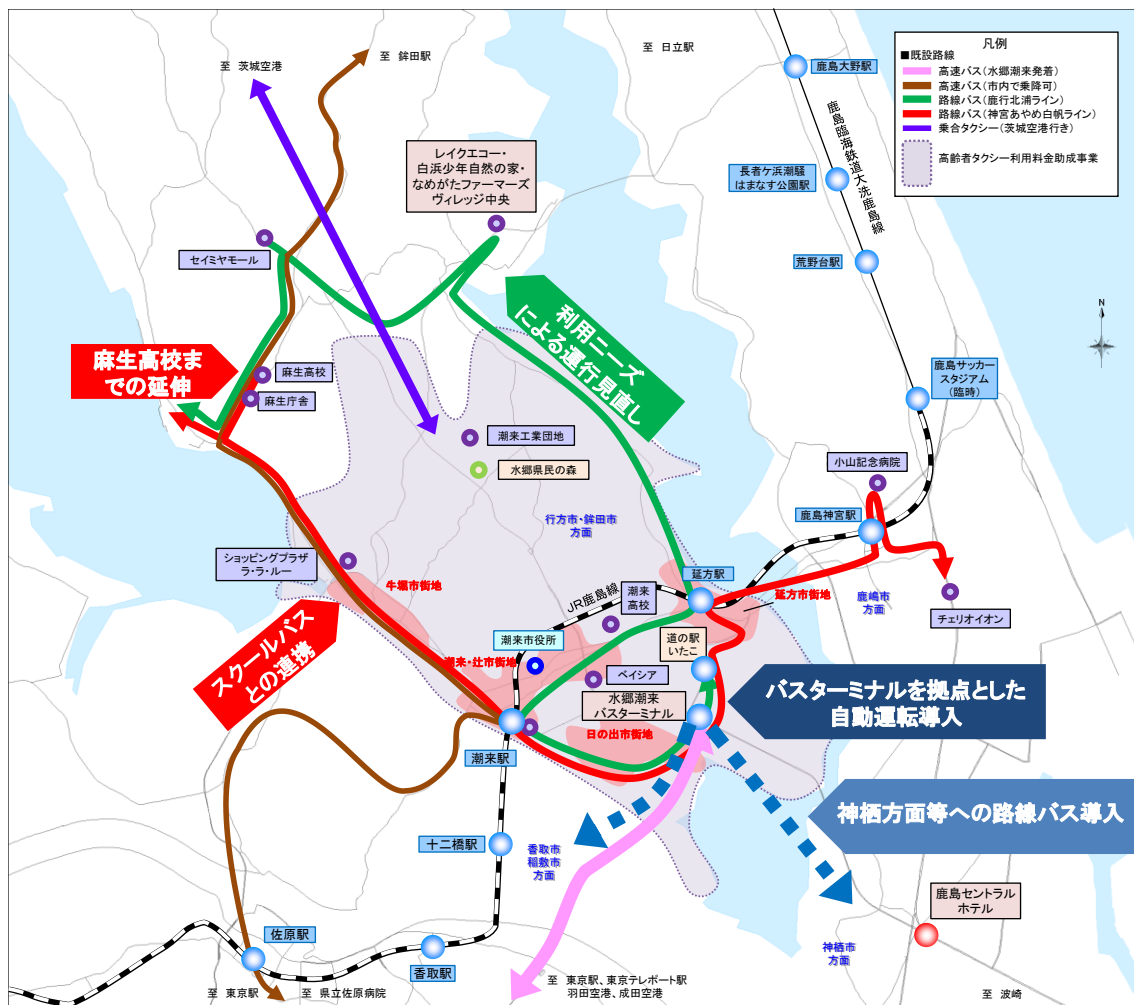
2050年カーボンニュートラルの実現やSDGs達成に向けた取組の推進等、公共交通分野においても地球環境問題への対応が求められています。加えて高齢者を中心とした運転免許返納者の増加や若者の自動車離れ、コロナ禍を契機としたニューノーマル（働き方改革の加速、防疫意識の浸透等）の浸透も進んでいます。これらに応える公共交通の貢献が課題となっています。

6.2 基本方針

基本方針は、「地域公共交通のあるべき姿」と捉え、上位関連計画、課題等から次のとおりとします。

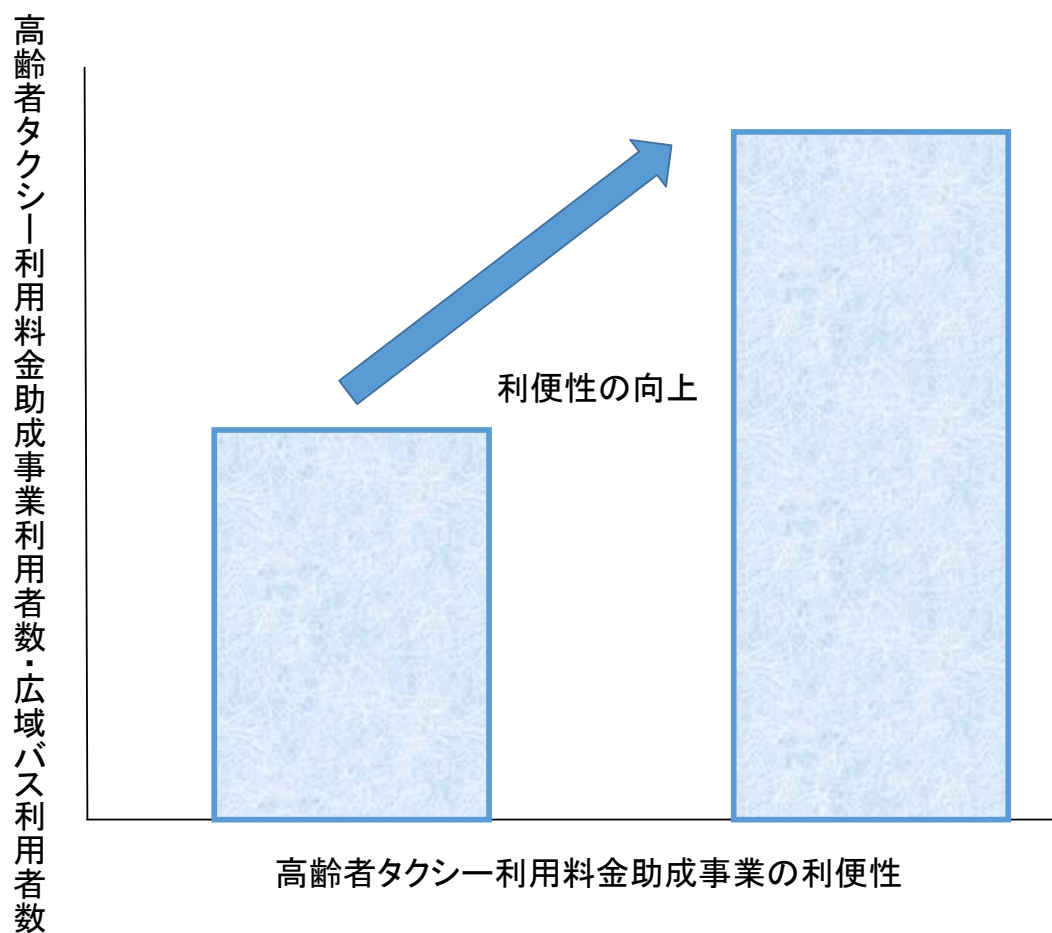
基本方針1 水郷潮来バスターミナル、鉄道駅、道の駅を拠点とした、ニーズ・需要に対応した公共交通ネットワークの形成

水郷潮来バスターミナル、鉄道駅、道の駅といった交通拠点を連絡する公共交通ネットワークについて、利用者のニーズを把握し、そのニーズに対応した運行形態へと改善を図っていきます。高校スクールバス等の送迎バスとの分担を踏まえた、広域路線バスの需要喚起策により、公共交通ネットワークを確保していきます。



基本方針 2 マイカーを使わなくとも移動できる、移動サービスの提供

現在、広域路線バスが運行していない地域では、高齢者タクシー利用料金助成制度が公的移動サービスのひとつとなっています。しかし、コロナ禍の影響もあり、実際の利用者は利用対象者に対して約 30%にとどまっています。したがって、利便性を向上し、この制度を活用する、高齢者・運転免許非保有者の拡大により、家族送迎等の負担を軽減し、かつ、公共交通空白地域内の移動と広域路線バスを利用しやすくしていきます。



基本方針 3 新技術を活用し、新たな社会課題へ対応する地域公共交通の実現

I C Tの急速な進展により、D X（デジタルトランスフォーメーション）が不可欠となり、自動運転や新たな移動サービスが実現してきています。一方、SDGs（持続可能な開発目標）の目標のもと、カーボンニュートラル、ニューノーマル（新たな日常）、災害の激甚化、バリアフリー等への対応が求められています。したがって、新技術を活用し、これら社会課題へ対応していきます。

地球環境

社会環境

カーボンニュートラル

公共交通転換・電動自動車



災害の激甚化

災害時の運行



バリアフリー化

車両・交通施設のバリアフリー化



新型コロナウイルス

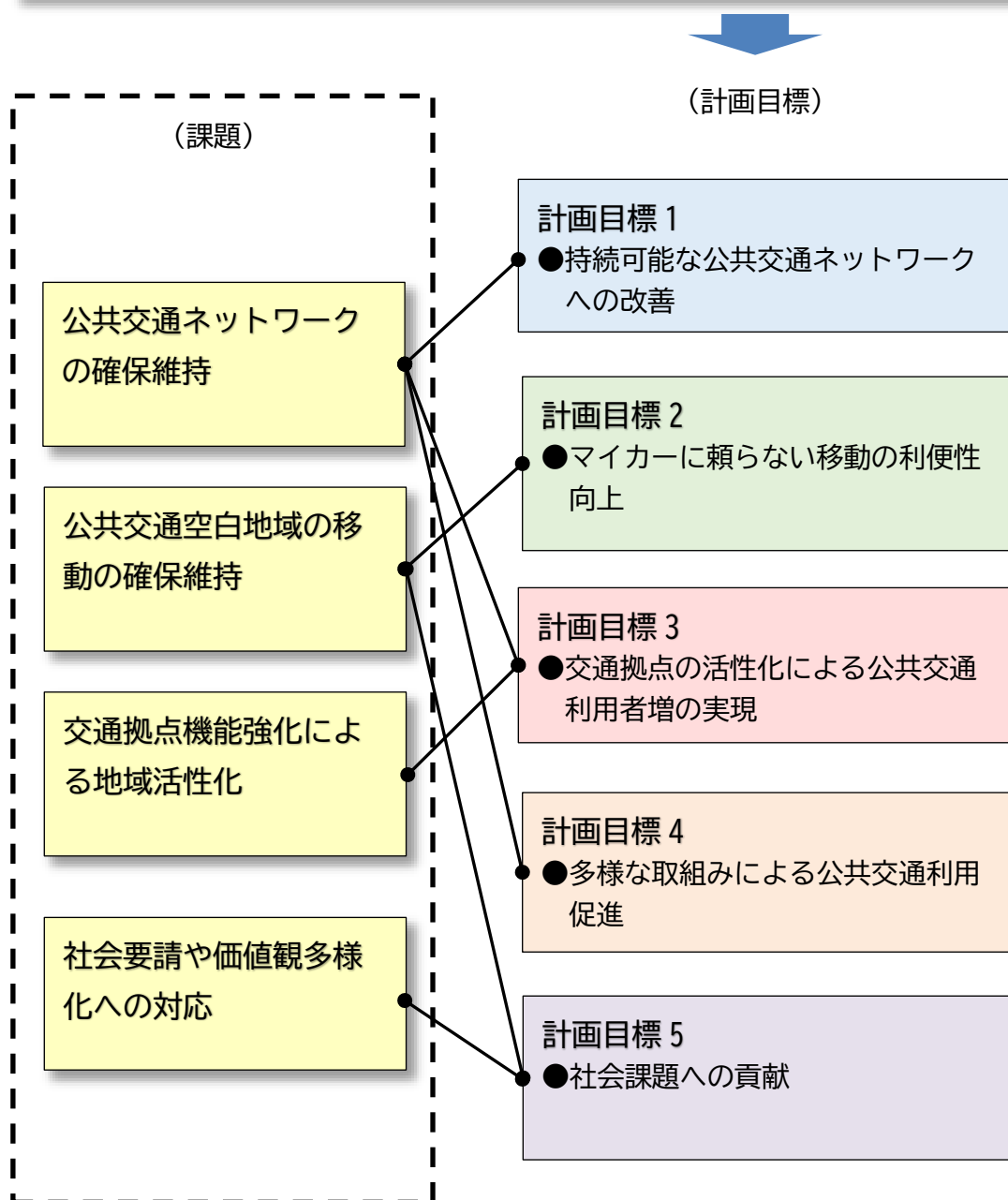
衛生対策



6.3 基本方針と計画目標

前記の課題と基本方針より、計画目標は「計画期間中に達成すべき目標」として、次のように設定します。

- (基本方針 1) 水郷潮来バスターミナル、鉄道駅、道の駅を拠点とした、ニーズ・需要に対応した公共交通ネットワークの形成
- (基本方針 2) マイカーを使わなくとも移動できる、移動サービスの提供
- (基本方針 3) 新技術を活用し、新たな社会課題へ対応する地域公共交通の実現



計画目標 1 持続可能な公共交通ネットワークへの改善

長期的には、水郷潮来バスターミナルをハブとした公共交通ネットワークを目指しますが、当面、以下の改善を目指します。

市民ニーズにもとづく運行形態の改善を行います。高校スクールバスとの連携を含め、各種の利用者増加となる施策、収支改善となる施策により、社会的持続可能性を改善していきます。

計画目標 2 マイカーに頼らない移動の利便性向上

広域路線バス以外の公共交通サービスは、タクシーと高齢者(75歳以上、運転免許非保有)タクシー利用料金助成事業です。しかし、コロナ禍の影響もあり、この事業の利用申請者は補助対象者の約30%にとどまっています。したがって、運転免許を有しない高齢者の方が利用しやすいように改善を図っていきます。また、バス停利用圏域を拡大するために、バス停までの交通の利便性改善を図ります。

計画目標 3 交通拠点の活性化による公共交通利用者増の実現

水郷潮来バスターミナルや潮来駅、延方駅、道の駅は重要な交通拠点です。地域活性化の点から、これら交通拠点への多様なアクセス性の改善を図っていきます。現在進んでいる水郷潮来バスターミナルを起点とした自動運転乗合交通の取組と連携し、交通拠点の活性化を推進します。

計画目標 4 多様な取組みによる公共交通利用促進

総合的かつ複雑な情報を活用する層から紙媒体が主となる層までに対し多様な形態での情報提供が必要です。したがって、公共交通に関する情報について、紙媒体からスマートフォンアプリまで多様なツールにて情報提供を行います。また、これまで進めてきた商業施設のバス利用者特典制度の拡大を図るとともに、バス待合空間を商業施設内に設置することの協力を求めています。

計画目標 5 社会課題への貢献

カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡)、SDGs(バリアフリー化など)などの社会課題へ対応していくことも求められています。バスの電動化やタクシーのユニバーサルデザイン車両の普及を支援します。

新型コロナウイルスの感染拡大により、ライフスタイルが変化し、それが定着した新たな日常(ニューノーマル)への対応を図っていきます。

7. 実施する事業・実施主体

計画期間中に具体的に実施する事業は以下のとおりとします。

計画目標	事業
計画目標1 持続可能な公共交通ネットワークへの改善	事業1-1 利用者ニーズにもとづく運行の改善
	事業1-2 スクールバスとの役割分担を踏まえた広域路線バスの利用促進
	事業1-3 副収入による運行収支の改善
	事業1-4 乗車券・定期券等の利便性向上による需要喚起
	事業1-5 広域路線バスの周知・親しみやすさ向上による需要喚起
	事業1-6 広域路線バスの利用促進を踏まえた運行の改善

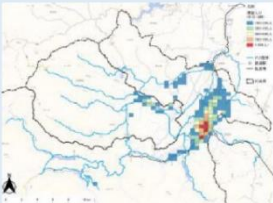
計画目標	事業
計画目標2 マイカーに頼らない移動の利便性向上	事業2-1 高齢者タクシー利用料金助成事業の利便性の向上
	事業2-2 タクシーのサービス・利便性の向上
	事業2-3 バス停までのアクセス利便性の向上によるバス利用圏の拡大

計画目標	事業
計画目標 3 交通拠点の活性化による公共交通利用者増の実現	事業 3-1 水郷潮来バスターミナルや道の駅を拠点とした自動運転車両等の運行による活性化
	事業 3-2 水郷潮来バスターミナルや道の駅における魅力的な二次交通による観光周遊の推進
	事業 3-3 水郷潮来バスターミナルにおけるカーシェアリングの導入による利便性向上
	事業 3-4 水郷潮来バスターミナルや道の駅におけるナショナルサイクルルートとの連携
	事業 3-5 水郷潮来バスターミナルのハブ化を推進するバス路線の運行

計画目標	事業
計画目標 4 多様な取組みによる公共交通利用促進	事業 4-1 バス情報の路線検索や位置情報サービスによる利便性向上
	事業 4-2 公共交通利用ガイドの定期更新・配布による利用促進
	事業 4-3 バス認知度の向上及びバス利用者の利便性向上
	事業 4-4 バス利用特典制度の拡大による利用促進（前計画の継続）
	事業 4-5 バス待ち空間の施設内設置による快適性向上（前計画の継続）

計画目標	事業
計画目標 5 社会課題への貢献	事業 5-1 電動バス等の導入支援によるCO ₂ 排出量の削減推進
	事業 5-2 公共交通ユニバーサルデザイン化の推進
	事業 5-3 災害時の公共交通による移動確保
	事業 5-4 公共交通の衛生対策の支援

7.1 持続可能な公共交通ネットワークへの改善

事業概要	1-1 利用者ニーズにもとづく運行の改善				
	利用が低迷している広域路線バスについて、詳細な利用ニーズや移動実態を把握し、バス停配置やダイヤ編成を改善し、利用者増を目指します。 利用者ニーズの把握には、①沿線住民、バス利用者等のニーズをヒアリングやアンケート、②ＩＣカード化（鹿行北浦ラインは導入済み）により、詳細な利用データ（乗降バス停、利用日時等）の把握、③人流ビッグデータを活用した、人の集中箇所と時間の把握、④沿線住民への個別訪問やワークショップなどがあります。これらのうち有効な方法を検討し実施していきます。 <参考事例> ○ビッグデータ分析イメージ ○滞留人口 ・滞留が多い場所や時間帯の他、滞留している人の属性（居住地、年齢等）を分析  ○流動人口 ・流動が多い地域の組合せや時間帯の他、移動している人の居住地、年齢、性別等を分析  出典：データ活用による交通ネットワーク再編事業 概要版 令和3年3月 埼玉県 ○十勝バスの戸別訪問 2. 十勝バスの戦略的な取り組み (3) 路線バス沿線住民宅に戸別訪問 どうして、バスに乗って頂けないのですか？  出典：第10回 日本モビリティ・マネジメント会議(東京) JCOMM10周年記念セッション 2015年7月 十勝バス株式会社				
実施主体	市、交通事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	手法検討 ニーズ把握実施 運行改善実施 随時運行改善検討				

事業	1-2 スクールバスとの役割分担を踏まえた広域路線バスの利用促進				
概要	広域路線バスと高校スクールバスの共存を前提として、高校生の広域路線バスの利用促進を図ります。 その方法として、次のようなことを検討します。 ①神宮あやめ白帆ラインの麻生高校までの延伸 ②スクールバスを利用している生徒に対し、スクールバス運行日・時間帯以外において、運賃の割引を行い広域路線バスの利用を促進する。 <参考事例> ○専修大学の学生へのバス運賃割引 専修大学では、生田キャンパスへの通学において、学生の通学の便宜を図ると同時に通学路の混雑を解消する方策の一環として 「向ヶ丘遊園駅～専修大学」までのバスの割引（210 円→100 円）を実施しています。 ・券売機設置場所 生田校舎 4 号館 1 階学生生活課前（11 枚綴り 1,000 円） ・割引サービスの時期と時間帯 （期間） 授業開講日（土、日曜日及び前・後期追試験期間を除く） （時間帯） 午前 8 時から終車まで 出典：専修大学ホームページより作成				
実施主体	市、交通事業者				
スケジュール	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	検討、協議・調整	協議が調った後に順次実施			

事業概要	1-3 副収入による運行収支の改善				
	広域路線バスについて、貨客運送効率化事業制度を活用した貨客混載や車内・車体・バス停等の広告収入などによる収支改善を図ります。 貨物輸送の品目として、水郷潮来バスターミナルや道の駅で販売可能な特産品などの輸送、あるいは公共施設間の書類等の輸送などが考えられ、これらについて検討します。 <参考事例> ○貨客混載の許可 【乗合バス】  350kg以上の荷物を運ぶことを可能とする (貨物自動車運送事業の許可を取得) ※350kg未満の荷物を運ぶ場合は、今まで通り許可不要 【タクシー】  荷物を運ぶことを可能とする (貨物自動車運送事業の許可を取得) ※過疎地域に限る 出典：国土交通省ホームページ (https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000134.html) ○貨客混載事例 (3) 混載方法等 持参・積込 貨客混載運行 出荷物のみ搬送 荷卸・引き渡し 陳列・販売  神姫バス株式会社は、兵庫六甲農業協同組合（以下、JA）及び地域の農産物生産者他（以下、生産者）と連携し、利用者の減少により路線の維持確保に苦しむ<u>路線バス</u>と、農産物販売所までの輸送手段の確保に悩む<u>JA・生産者</u>の課題を解決する取組みとして、路線バスで農産物を運送する<u>貨客混載の実証運行</u>を令和3年1月19日（火）から開始します。 出典：NEWS RELEASE 2021年1月 国土交通省近畿運輸局				
実施主体	市、交通事業者、民間事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	検討、協議・調整		協議が調った後に順次実施		

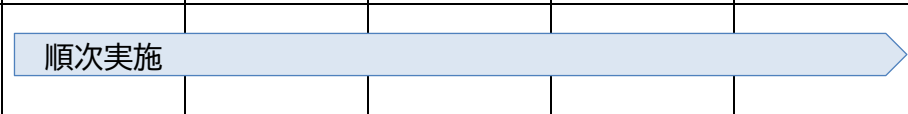
事業概要	1-4 乗車券・定期券等の利便性向上による需要喚起				
	通勤通学等の利便性向上のための「鹿行北浦ラインと神宮あやめ白帆ラインとの共通定期・回数券」や、観光客を対象とした企画乗車券など、各種の乗車券・定期券の工夫を検討し、需要喚起を図ります。 鹿行北浦ラインでは定期券及び回数券がなく、神宮あやめ白帆ラインでは定期券及び回数券が販売されています。道の駅～潮来駅の間では、鹿行北浦ラインと神宮あやめ白帆ラインが重複しています。この重複区間内の利用について、神宮あやめ白帆ラインの定期券、回数券で鹿行北浦ラインも利用できるように改善を図っていきます。 また、観光客をターゲットとした、広域路線バス及びＪＲを１日乗り放題とする、１日共通乗車券等の導入を図っていきます。 <参考事例> ○広島における定期共通化 定期券で重複する区間内であれば７社のいずれのバスでも利用できる。  出典：備北交通㈱ホームページ <参考事例> ○京都観光一日乗車券 京都市内では、市営バス、市営地下鉄及び京都バスが乗り放題となる共通乗車券を販売しています。現在、価格は見直しが行われ1,100円となっています。  出典：京都市交通局 各種割引乗車券等の抜本的見直し及び現行乗車券の取扱いについて ホームページ https://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/page/0000284803.html)				
実施主体	市、交通事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	検討、協議・調整 協議が調った後に順次実施				

事業概要	1-5 広域路線バスの周知・親しみやすさ向上による需要喚起				
	広域路線バスを市民が支えていく理念の浸透による需要増を目指し、市民が親しみを持ち、広く周知されるよう、次のような施策を検討、実施していきます。 ・バスの愛称等の公募 - バスの愛称、マスコットやラッピングデザインを公募し、市民の方からの親しみやすさの向上と認知度を高める。 <参考事例> ○小美玉市の愛称・車両ラッピングデザイン公募  コミュニティバスに あなたの想い、 込めてみませんか。 小美玉市コミュニティバス 「愛称」 「車両ラッピングデザイン」募集 募集期間 R3. 5. 17 (月) ～ R3. 6. 14 (月) ※17時15分必着 平成25年10月から実証運行をしている市内循環バスの本格運行開始に向けて、コミュニティバスの「愛称」及び「車両ラッピングデザイン」を募集します。 ■愛称の部 ●応募資格 小美玉市に在住・通勤・通学のいずれかに該当する方。※応募点数は1人3作品まで。 ●応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、持参、郵送、回収箱（応募ボックス）に投入、電子申請のいずれかで応募してください。 ①コミュニティバスの愛称 （漢字を使用した場合にはふりがなをつけてください） ②愛称の説明（込めた想い・コンセプトなど） ③氏名（ふりがな） ④住所 （市内通勤または通学の方は、応募者の住所及び勤務先または通学先） ⑤年齢 ⑥電話番号 ■車両ラッピングデザインの部 ●応募資格 どなたでも応募できます。 ※応募点数は1人（グループ）3作品まで。 ●応募方法 応募用紙データ（PDF）にパソコンソフト等でデザイン・着色及び必要事項を記入し、持参、郵送のいずれかで応募してください。 ①IllustratorとPDFを保存したCD-R（Illustratorで加工可能なデータとします） ②デザインの説明（込めた想い・コンセプトなど） ③氏名（ふりがな） （グループの場合はグループ名及び代表者氏名） ④住所 ⑤年齢 ⑥電話番号 ※「応募用紙」「選考方法」「表彰」「その他留意事項」などは、市ホームページをご覧ください。 【問合せ】 小美玉市役所企画調整課 小美玉市コミュニティバス愛称・車両ラッピングデザイン募集担当 〒319-0192 茨城県小美玉市堅倉835 TEL 0299-48-1111（内線1232）				
実施主体	市				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	検討・実施				
	周知PR実施				

出典：小美玉市ホームページ(<https://www.city.omitama.lg.jp/0003/info-0000007670-1.html>)

施策概要	1-6 広域路線バスの利用促進を踏まえた運行の改善				
	利用が低迷する広域路線バスについて、前項までのような利用促進策を実施しても、その利用が改善されない場合について、運行形態の変更等を検討、実施します。 鹿行北浦ラインは、地域住民の移動を担うとともに、観光拠点を連絡する目的を持った路線です。運行を維持するため、路線バスとして「支援すべき利用者数」以下とならないように利用促進を図ります。しかしながら、利用者数が前記を下回るような場合には、夜の減便、土日の減便、運行区間縮小等を検討します。 運行変更後もさらに「支援すべき利用者数」を下回るような場合、車両のダウンサイジング（ワゴン車等への変更）や観光対応の新たな運行方法（高速バスターミナルからの予約型乗合タクシー等）を検討します。 <参考事例> ○日野市の運行継続基準の例 ミニバス（現行路線）見直しフロー（案） ミニバス（現行路線）の運行実績が運行継続条件を満たしているか？ 満たしている 民間事業者が自主路線として運行可能か？ 可能 民間事業者が自主路線として運行 満たしていない 運行内容（運行経路・ダイヤ・運賃等）の見直し 見直し内容での運行を実施（2年間） 見直し後1年間の運行実績が運行継続条件を満たしているか？ 満たしている ミニバス（現行路線）として運行継続 不可能 見直し後1年間の運行実績が運行継続条件を満たしているか？ 満たしていない 地域と行政が協働で見直し案を計画・協働で利用促進等を行う新たな形態の交通の導入を検討 ■ 運行継続条件（案） ● 1便あたりの利用者数が ● 人以上 ● 収支率●%以上				
	出典：日野市地域公共交通総合連携計画 2019-2028 2019年3月 日野市				
実施主体	市				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	随時検討、協議・調整、運行形態変更等実施				

7.2 マイカーに頼らない移動の利便性向上

施策概要	2-1 高齢者タクシー利用料金助成事業の利便性の向上				
	公共交通空白地域において、移動制約者の移動を支えるために、高齢者タクシー利用料金助成事業の利便性を改善します。 高齢者タクシー利用料金助成事業は、公共交通空白地域における、公共交通の必要性の高いと考えられる、運転免許を有しない高齢者を対象に、公共交通不便地域内の移動、広域路線バスへの乗り継ぎによる広域移動を確保するものです。 しかし、対象者のうち、まだ利用していない方も多くいることから、前記の理念のもと、家族送迎等の負担を減らし、交通空白地域の方が広域路線バスを利用しやすいように、初乗り（740円）分を補助することなどを検討し実施していきます。 ○現在の助成概要 ・助成内容 1枚 500円分のタクシー助成券を年間48枚交付 ・対象者（①から⑤の要件をすべて満たす方） ①潮来市内に住民登録をされている方 ②申請時において満75歳以上の方 ③原動機付自転車などを含むすべての運転免許を保有していない方 ④潮来市福祉タクシー利用券の交付等を受けていない方 ⑤介護保険の施設等に入所等されていない方 <参考事例> ○かすみがうら市 タクシー助成の例 ・助成対象者 タクシー助成券事業本市に住所を有する方で、次の要件のいずれかを満たす方。60歳以上の方で運転免許を持たない方、身体障害者手帳1級または2級の方、療育手帳A以上の方、精神障害者手帳1級又は2級の方 ・交付枚数：タクシー利用助成券年間52枚 ・助成内容 初乗り運賃標準額と初乗り運賃を比較して低い方の額 初乗り運賃標準額 普通車740円、大型車780円、特定大型車830円 出典：かすみがうら市ホームページ(https://www.city.kasumigaورا.ig.jp/page/page006474.html)				
実施主体	市				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
					

施策概要	2-2 タクシーのサービス・利便性の向上
------	----------------------

地域住民及び来訪者のいずれにとっても、タクシーの呼び出しの利便性向上は、移動需要に対応する効果的な方法です。その有効な対策である共同配車システム導入について検討していきます。また、その他タクシーのサービス向上策について検討、実施していきます。

共同配車システムは地域で独自に構築する方法と、既存のサービスプロバイダーのアプリを導入する方法があります。本市に導入しやすい方法を検討していきます。

現在、スマートフォンアプリによるタクシー配車システムが普及してきています。地域のタクシー事業者が同じアプリプロバイダーのサービスに加盟すれば、利用者はそのアプリで地域内の全タクシーの中から最も近い場所にいる車両の配車を受けることが可能となります。ただしタクシー事業者が同一アプリに加盟することが必要です。

<参考事例>

○大曽根タクシー導入例

出典：大曽根タクシー(株)ホームページ(<https://ozone-tx.co.jp/2021/01/go-1.html>)

実施主体	タクシー事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	導入可能な手法の検討・実施				

施策概要	2-3 バス停までのアクセス利便性の向上によるバス利用圏の拡大				
	本市では路線バスのサービス区域が限られていることから、バス停までの移動手段を確保することで、バスのサービス圏域を拡大することが可能です。そのため、自転車を活用しバス停までアクセスする際の利便性を改善します。 交通結節点であるバス停へのアクセス利便性は、地域公共交通の利用増を図る上で重要です。ハード面では、いわゆる、ラスト／ファーストワンマイル（自宅や目的地と交通結節点間の移動）のモビリティ確保と駐停留機能を有することが必要です。 したがって、自転車アクセス需要の考えられるバス停におけるサイクル&バスライド駐輪場の整備を推進します。 <参考事例> ○バス停併設駐輪場の事例（東京）  ○バス停近くのサイクル&バスライド駐輪場(越谷市)  出典：越谷市サイクルアンドバスライド駐輪場のご案内(https://www.city.koshigaya.saitama.jp/smph/kurashi_shisei/kurashi/sumai/koukyokoutsu/koshigaya_cycleandbusride.html)				
実施主体	市、バス事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	整備箇所検討		実施		

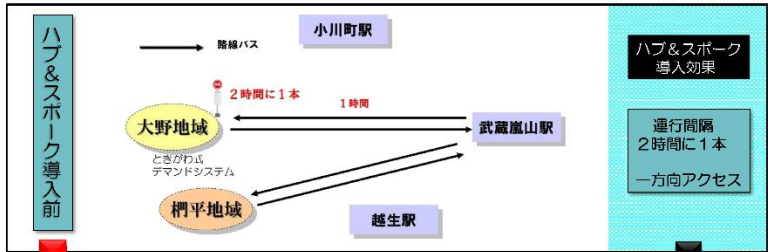
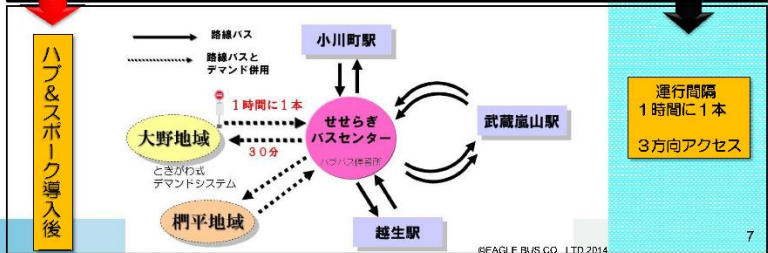
7.3 交通拠点の活性化による公共交通利用者増の実現

施策	3-1 水郷潮来バスターミナルや道の駅を拠点とした自動運転車両等の運行による活性化				
概要	水郷潮来バスターミナル及び道の駅は、重要な交通拠点であり、拠点整備の取組が行われています。これらを契機とした活性化により公共交通の利用者増を目指します。 既に取組が開始されている「水郷潮来バスターミナル」や道の駅を拠点する自動運転乗合交通の運行により、水郷潮来バスターミナルの交通拠点としての機能向上を図ります。 ○水郷潮来バスターミナルの自動運転サービス事業イメージ  信号無し交差点(自動運転車対面通行) パターン①:ライジングボード使用 パターン②:交差道路遮断機使用 ＜主な検証内容＞ ・検閲部の誤進入防止策(ライジングボード、遮断機等)の効果検証 ・遮断タイミング等の交差処理の実効性、他交通との錯綜有無の検証 など 出典：内閣府未来技術社会実装事業と連携した自動運転サービス導入支援事業について（選定） 2020年7月 国土交通省関東地方整備局 ○水郷潮来バスターミナルの新しい待合所 				
実施主体	市				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	検討・実施				

施策	3-2 水郷潮来バスターミナルや道の駅における魅力的な二次交通による観光周遊の推進																																																	
概要	水郷潮来バスターミナル及び道の駅は、観光来訪者の交通拠点であることから、観光周遊のために、広域路線バスだけでなく、それ以外の二次交通を整備することで、交通拠点としての機能向上による公共交通利用者増を目指します。 水郷潮来バスターミナル及び道の駅を起点とした、市内の主要観光地を周遊する、グリーンスローモビリティ、パーソナルモビリティや水上交通など魅力的な交通手段の導入を検討し、観光二次交通のサービス向上を図ります。 <参考事例> ○小型・パーソナルモビリティの種類 <table><tr><th colspan="2">小型バス・カート</th><th colspan="2">パーソナルモビリティ</th><th>自動宅配ロボット</th></tr><tr><td>e-Palette</td><td>eCOM-10</td><td>C*pod</td><td>COMS</td><td>楽天UGV</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(全長×全幅×全高) 5,255×2,065×2,760mm</td><td>(全長×全幅×全高) 4,995×2,000×2,425mm</td><td>(全長×全幅×全高) 2,490×1,290×1,550mm</td><td>(全長×全幅×全高) 2,395×1,095×1,495mm</td><td>(全長×全幅×全高) 1,715×750×1,600mm</td></tr><tr><td>最高速度 19km/h 乗車人数 20名</td><td>最高速度 19km/h 乗車人数 16名</td><td>最高速度 60km/h 乗車人数 2名</td><td>最高速度 60km/h 乗車人数 1名</td><td>最高速度 15km/h 最大積載量 50kg</td></tr><tr><td>NAVYA ARMA</td><td>YG-M E-Li</td><td>電動キックボード</td><td>電動車いす</td><td>DeliRo</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(全長×全幅×全高) 4,750×2,110×2,640mm</td><td>(全長×全幅×全高) 3,346×1,188×1,697mm</td><td>(全長×全幅×全高) 1,228×536×1,186mm</td><td>(全長×全幅×全高) 890×540×890mm</td><td>(全長×全幅×全高) 962×664×1,089mm</td></tr><tr><td>最高速度 25km/h 乗車人数 15名</td><td>最高速度 19km/h 乗車人数 4名</td><td>最高速度 19km/h 乗車人数 1名</td><td>最高速度 5.5km/h 乗車人数 1名</td><td>最高速度 6km/h 最大積載量 50kg</td></tr></table> 出典：東京都ホームページ ○市営ろ舟遊覧  出典：潮来市ホームページ(https://www.city.itako.lg.jp/page/page001377.html)					小型バス・カート		パーソナルモビリティ		自動宅配ロボット	e-Palette	eCOM-10	C*pod	COMS	楽天UGV						(全長×全幅×全高) 5,255×2,065×2,760mm	(全長×全幅×全高) 4,995×2,000×2,425mm	(全長×全幅×全高) 2,490×1,290×1,550mm	(全長×全幅×全高) 2,395×1,095×1,495mm	(全長×全幅×全高) 1,715×750×1,600mm	最高速度 19km/h 乗車人数 20名	最高速度 19km/h 乗車人数 16名	最高速度 60km/h 乗車人数 2名	最高速度 60km/h 乗車人数 1名	最高速度 15km/h 最大積載量 50kg	NAVYA ARMA	YG-M E-Li	電動キックボード	電動車いす	DeliRo						(全長×全幅×全高) 4,750×2,110×2,640mm	(全長×全幅×全高) 3,346×1,188×1,697mm	(全長×全幅×全高) 1,228×536×1,186mm	(全長×全幅×全高) 890×540×890mm	(全長×全幅×全高) 962×664×1,089mm	最高速度 25km/h 乗車人数 15名	最高速度 19km/h 乗車人数 4名	最高速度 19km/h 乗車人数 1名	最高速度 5.5km/h 乗車人数 1名	最高速度 6km/h 最大積載量 50kg
小型バス・カート		パーソナルモビリティ		自動宅配ロボット																																														
e-Palette	eCOM-10	C*pod	COMS	楽天UGV																																														
																																																		
(全長×全幅×全高) 5,255×2,065×2,760mm	(全長×全幅×全高) 4,995×2,000×2,425mm	(全長×全幅×全高) 2,490×1,290×1,550mm	(全長×全幅×全高) 2,395×1,095×1,495mm	(全長×全幅×全高) 1,715×750×1,600mm																																														
最高速度 19km/h 乗車人数 20名	最高速度 19km/h 乗車人数 16名	最高速度 60km/h 乗車人数 2名	最高速度 60km/h 乗車人数 1名	最高速度 15km/h 最大積載量 50kg																																														
NAVYA ARMA	YG-M E-Li	電動キックボード	電動車いす	DeliRo																																														
																																																		
(全長×全幅×全高) 4,750×2,110×2,640mm	(全長×全幅×全高) 3,346×1,188×1,697mm	(全長×全幅×全高) 1,228×536×1,186mm	(全長×全幅×全高) 890×540×890mm	(全長×全幅×全高) 962×664×1,089mm																																														
最高速度 25km/h 乗車人数 15名	最高速度 19km/h 乗車人数 4名	最高速度 19km/h 乗車人数 1名	最高速度 5.5km/h 乗車人数 1名	最高速度 6km/h 最大積載量 50kg																																														
実施主体	市、民間事業者																																																	
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																													
	検討・実施																																																	

施策	3-3 水郷潮来バスターミナルにおけるカーシェアリングの導入による利便性向上				
概要	本市の観光において、観光二次交通のひとつとして自動車も重要な交通手段です。水郷潮来バスターミナルにおいて、観光来訪者が自動車も利用できるようにすることで、水郷潮来バスターミナルの機能向上による公共交通利用者増を目指します。 P & R 駐車場敷地を活用し、レンタカーの代替としてカーシェアリングの導入により、水郷潮来バスターミナルの利便性の向上を図ります。それを契機として広域路線バス等の利用を期待します。 <参考事例> ○観光地における二次交通確保の取り組み（兵庫県豊岡市） 観光地における二次交通としての有効性を調査するため、豊岡市の所有地へカーシェア車両を3カ所6台設置し実験をおこなっています。 「城崎温泉」「山陰海岸ジオパーク」「城崎マリンワールド」などの観光地への二次交通としての利用とともに、自動車を保有していない市民やビジネスパーソンの移動手段としても活用いただけるものと考えております。 また、エコに配慮した公用車の効率的な運用を目的として、豊岡市職員もご利用いただいています。豊岡駅前ステーションに設置している2台は、一般の会員と共同利用で、豊岡市役所本庁舎ステーションに設置している2台は、平日を職員専用として、休日を一般の会員と共同利用。 出典：タイムズカー 官民連携によるカーシェアリング普及の取り組み(https://share.timescar.jp/public/)				
実施主体	市、民間事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	検討・実施				

施策	3-4 水郷潮来バスターミナルや道の駅におけるナショナルサイクルルートとの連携																
概要	水郷潮来バスターミナルの交通拠点機能を高め、公共交通利用者増を目指すために、ナショナルサイクリングロードとの連携を図ります。 水郷潮来バスターミナルは、ナショナルサイクリングロード（つくば霞ヶ浦りんりんロード）のゲートウェイとなっています。水郷潮来バスターミナルや道の駅でのサイクリストの受入れ環境整備(サイクルステーション等)を行い、高速バスによるサイクリストの来訪を支援し、高速バス利用者の増加を支援します。 <参考事例> ○つくば霞ヶ浦りんりんロードの概要 ルートの概要 <table><tr><td>名 称</td><td>(日本語) つくば霞ヶ浦りんりんロード (英語) Tsukuba-Kasumigaura ring-ring road</td></tr><tr><td>区 間</td><td>自:茨城県桜川市 JR 岩瀬駅 至:茨城県潮来市 水郷潮来バスターミナル</td></tr><tr><td>延 長</td><td>176km</td></tr><tr><td>名 称 の 由 来</td><td>土浦市街地から筑波山の麓を通過し、JR水戸線岩瀬駅までつながっている旧つくばりんりんロードと、霞ヶ浦を一周する霞ヶ浦湖岸道路を結ぶ道路であること。 つくば霞ヶ浦りんりんロードの名称は、公募及び一般投票により名称決定している。</td></tr><tr><td>通過都道府県</td><td>茨城県</td></tr><tr><td>市 町 村</td><td>桜川市、つくば市、土浦市、かすみがうら市、 石岡市、小美玉市、行方市、阿見町、美浦村、 稲敷市、潮来市</td></tr></table> 概略図					名 称	(日本語) つくば霞ヶ浦りんりんロード (英語) Tsukuba-Kasumigaura ring-ring road	区 間	自:茨城県桜川市 JR 岩瀬駅 至:茨城県潮来市 水郷潮来バスターミナル	延 長	176km	名 称 の 由 来	土浦市街地から筑波山の麓を通過し、JR水戸線岩瀬駅までつながっている旧つくばりんりんロードと、霞ヶ浦を一周する霞ヶ浦湖岸道路を結ぶ道路であること。 つくば霞ヶ浦りんりんロードの名称は、公募及び一般投票により名称決定している。	通過都道府県	茨城県	市 町 村	桜川市、つくば市、土浦市、かすみがうら市、 石岡市、小美玉市、行方市、阿見町、美浦村、 稲敷市、潮来市
名 称	(日本語) つくば霞ヶ浦りんりんロード (英語) Tsukuba-Kasumigaura ring-ring road																
区 間	自:茨城県桜川市 JR 岩瀬駅 至:茨城県潮来市 水郷潮来バスターミナル																
延 長	176km																
名 称 の 由 来	土浦市街地から筑波山の麓を通過し、JR水戸線岩瀬駅までつながっている旧つくばりんりんロードと、霞ヶ浦を一周する霞ヶ浦湖岸道路を結ぶ道路であること。 つくば霞ヶ浦りんりんロードの名称は、公募及び一般投票により名称決定している。																
通過都道府県	茨城県																
市 町 村	桜川市、つくば市、土浦市、かすみがうら市、 石岡市、小美玉市、行方市、阿見町、美浦村、 稲敷市、潮来市																
	出典：ナショナルサイクルルート指定に関する審査総括表																
実施主体	市																
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度												
	検討・実施																

事業概要	3-5 水郷潮来バスターミナルのハブ化を推進するバス路線の運行				
	水郷潮来バスターミナルをハブとし、隣接市と連絡する公共交通ネットワーク形成を目指します。 現在、鹿嶋市、行方市とは、水郷潮来バスターミナルから広域バスにより連絡しています。香取市とは潮来駅から乗り換えとなりますが公共交通で連絡しています。神栖市と水郷潮来バスターミナルとは連絡されていないため、水郷潮来バスターミナルから神栖方面等への路線バス導入の検討を行います。 <参考事例> ○ハブアンドスポークのイメージ ハブ&スポーク導入前  ハブ&スポーク導入後  7 SEAGLE BUS CO., LTD.2014				
	出典：交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会 豊かな未来社会に向けた自動車行政の新たな展開に関する小委員会 2014年10月21日 イーグルバス(株)				
実施主体	市、バス事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	導入検討、協議・調整、実施				

7.4 多様な取組みによる公共交通利用促進

施策概要	4-1 バス情報の路線検索や位置情報サービスによる利便性向上				
	スマートフォン等によるバス路線検索サービス・バス位置情報の提供により利便性を改善することで、公共交通の利用促進を行います。 バス路線検索サービス・バス位置情報提供には、地域独自のアプリケーションを整備する方法、路線検索プロバイダーにバス情報データを提供する方法などがあります。したがって、本市に適した方法を検討していきます。 <参考事例> 現在、路線検索プロバイダーでは、バス路線の GTFS(General Transit Feed Specification の略で、経路検索サービスや地図サービスへの情報提供を目的としてアメリカで策定された世界標準の公共交通データフォーマットデータ)の提供があれば、路線検索サービスが可能となっています。そのため、路線バスに関する GTFS データを作成・オープン化することが進んでいます。 OGTFS データ提供による路線検索の例  出典：海津市ホームページ(https://www.city.kaizu.lg.jp/kurashi/0000001999.html)				
実施主体	バス事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	手法検討				
	導入可能な手法を順次実施				

施策概要	4-2 公共交通利用ガイドの定期更新・配布による利用促進				
	公共交通利用ガイドを適宜更新し、最新の情報とすることで、利用者の利便性を高め、公共交通の利用を促進します。 公共交通利用ガイドは一度作成、配布しましたが、その後、更新・配布していません。今後は随時、最新情報を掲載し、更新配布していきます。 また、公共交通利用ガイドの中に、個人に必要な情報のみを記載できるような個人用時刻表作成スペースを設け、公共交通利用ガイドの有効利用を図ります。 ○潮来市公共交通利用ガイド Itako City Public Transportation Usage guide 2019.4 版 潮来市公共交通 利用ガイド  <参考事例> ○茨城県常陸太田市 マイ時刻表 バスをご利用される利用者個人に必要な情報のみを記載した時刻表。「自宅から最寄りの乗車バス停」と「目的地のバス停」，「バスの行先番号」，「行きと帰りの運行時刻」を記載。  出典：常陸太田市地域公共交通会議(http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/page/page005919.html)				
実施主体	市				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	随時更新・配布				

施策概要	4-3 バス認知度の向上及びバス利用者の利便性向上				
	バスの認知度を高めることで利用促進を図ります。そのため、次のような、各種のイベント等の取り組みを検討、実施します。 ・バス乗り方教室 イベント時、各種団体（学校等）や高齢者等地域住民等バス乗り方教室（乗車体験）を実施する。 ・出前講座 乗り方だけでなく路線バスの歴史についても解説するほか、路線図と時刻表から日常生活での利用方法を考える体験学習も行う。 ・路線バス車内展示会 小学生からバス利用促進につながるポスターを募集し、車内展示を実施。 ・バス音声案内コンテスト 小学生を対象に、バスの案内（停留所名）のコンテストを行い、優秀者の音声で案内を行う。 ・高校オープンスクール等での啓発 高校オープンスクールや入学説明会において、路線バス無料乗車券を配布、また路線バスの利用案内（通学・帰宅時間帯の時刻表）を配布する。 ・定期券出張販売 高校での定期券の出張販売を実施する。 ・雨天時の傘の貸し出し 雨天時に傘の貸し出しを行う <参考事例> ○那須定住自立圏の体験乗車無料券 令和元年度那須県立高等学校一日体験学習における公共交通体験事業 那須地域にある県立高等学校には通学に使える路線バスがあります 県立高等学校一日体験実施の日に、一部のバスに無料で乗車できる「体験乗車」を実施します。高校進学後イメージして、バスを利用してみませんか。 体験乗車できる日（一日体験学習実施日） 2019年 7月31日（水） 那須塩原高等学校 8月 1日（木） 那須塩原高等学校（普通科）、那須高等学校 8月 2日（金） 那須塩原高等学校（専門学科） 8月 7日（水） 馬場高等学校、馬場高等学校 8月20日（火） 大田原高等学校、馬場高等学校 8月21日（水） 馬場高等学校 8月22日（木） 大田原女子高等学校 出典：那須塩原市				
実施主体	市、交通事業者、中学・高校				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	手法検討 実施可能な手法から順次実施				

施策概要	4-4 バス利用特典制度の拡大による利用促進（前計画の継続）																																			
	市では、対象となる商業施設等の協力のもと、広域路線バス利用者に対して商品割引等のサービスを提供する「広域路線バス利用者優待制度」を導入しています。今後、継続的に参画事業者を増やし、制度の充実に努めます。 ・現在の潮来市のバス利用特典参加企業 <乗車証明書特典対象施設（順不同）> <table><tr><th>対象施設（所在地）</th><th>【路線名】・「最寄バス停」</th><th>特典内容</th></tr><tr><td>ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー （潮来市永山 777）</td><td>【神宮あやめ白帆ライン】 「ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー」 下車</td><td>・以下の対象店舗でお買い上げ（100円以上）のお客様に対して100円割引（対象店舗：ウインクエクセラ、大地堂、ミーツ、カネヒラ、ピーンズ、イジマ、アーネスト、なごみ、ミミー） ※令和3年1月2日より複数枚同時利用不可</td></tr><tr><td>セイミヤ 潮来店 （潮来市潮来 617）</td><td>【神宮あやめ白帆ライン】 「二丁目」 下車</td><td rowspan="3">・商品お買い上げのお客様へ購入金額に応じてポイント进行付与 ・ポイントを貯めることにより、特典と交換が可能です。</td></tr><tr><td>セイミヤ 延方店 （潮来市小泉南 1365）</td><td>【鹿行北浦ライン】 「潮来税務署前」 下車</td></tr><tr><td>セイミヤ モール麻生店 （行方市麻生 3288-50）</td><td>【鹿行北浦ライン】 「セイミヤモール麻生店・カワチ薬品麻生店中央」 下車</td></tr><tr><td>道の駅いたこ （潮来市前川 1326-1）</td><td>【2路線共通】 「道の駅いたこ」 下車</td><td>・乗車証明書1枚と当日1,000円以上のお買い上げレシート1枚（他のレシートとの合算不可）を提示でどら焼き1個プレゼント</td></tr><tr><td>なめがたファーマーズヴィレッジ （行方市宇崎 1561）</td><td>【鹿行北浦ライン】 「レイクエコー」 下車</td><td>・大学いも1パック（定価650円（税込））を100円割引</td></tr><tr><td>かんぼの宿潮来 （潮来市水原 1830-1）</td><td>【鹿行北浦ライン】 「白鳥の里・かんぼの宿潮来下」 下車</td><td>・日帰り入浴料金（通常750円）を200円割引 ・宿泊（1泊2食）利用時の料金を500円割引 ※他の割引、クーポンとの併用は不可</td></tr><tr><td>あそう温泉白帆の湯 （行方市麻生 421-3）</td><td>【2路線共通】 「あそう温泉「白帆の湯」（天王崎）」 下車</td><td>・レンタルタオル大小セット（通常100円）の無料貸し出し</td></tr><tr><td>紀之園屋茶舗 （潮来市潮来 3085）</td><td>【神宮あやめ白帆ライン】 「大塚野入口」 下車</td><td>・ご来店のお客様に接客サービス ・お茶をお買い上げの方に煎茶の飲み切りバックをプレゼント</td></tr><tr><td>リハビリ孫の茶（※） （潮来市永山 777） （※）ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー内</td><td>【神宮あやめ白帆ライン】 「ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー」 下車</td><td>・体力測定（血圧、握力、身長、体重、3m歩行スピード測定）、リハビリ相談を無料で実施 ・お客様にあった体操をレクチャー ※所要時間約10分程度</td></tr></table>					対象施設（所在地）	【路線名】・「最寄バス停」	特典内容	ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー （潮来市永山 777）	【神宮あやめ白帆ライン】 「ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー」 下車	・以下の対象店舗でお買い上げ（100円以上）のお客様に対して100円割引（対象店舗：ウインクエクセラ、大地堂、ミーツ、カネヒラ、ピーンズ、イジマ、アーネスト、なごみ、ミミー） ※令和3年1月2日より複数枚同時利用不可	セイミヤ 潮来店 （潮来市潮来 617）	【神宮あやめ白帆ライン】 「二丁目」 下車	・商品お買い上げのお客様へ購入金額に応じてポイント进行付与 ・ポイントを貯めることにより、特典と交換が可能です。	セイミヤ 延方店 （潮来市小泉南 1365）	【鹿行北浦ライン】 「潮来税務署前」 下車	セイミヤ モール麻生店 （行方市麻生 3288-50）	【鹿行北浦ライン】 「セイミヤモール麻生店・カワチ薬品麻生店中央」 下車	道の駅いたこ （潮来市前川 1326-1）	【2路線共通】 「道の駅いたこ」 下車	・乗車証明書1枚と当日1,000円以上のお買い上げレシート1枚（他のレシートとの合算不可）を提示でどら焼き1個プレゼント	なめがたファーマーズヴィレッジ （行方市宇崎 1561）	【鹿行北浦ライン】 「レイクエコー」 下車	・大学いも1パック（定価650円（税込））を100円割引	かんぼの宿潮来 （潮来市水原 1830-1）	【鹿行北浦ライン】 「白鳥の里・かんぼの宿潮来下」 下車	・日帰り入浴料金（通常750円）を200円割引 ・宿泊（1泊2食）利用時の料金を500円割引 ※他の割引、クーポンとの併用は不可	あそう温泉白帆の湯 （行方市麻生 421-3）	【2路線共通】 「あそう温泉「白帆の湯」（天王崎）」 下車	・レンタルタオル大小セット（通常100円）の無料貸し出し	紀之園屋茶舗 （潮来市潮来 3085）	【神宮あやめ白帆ライン】 「大塚野入口」 下車	・ご来店のお客様に接客サービス ・お茶をお買い上げの方に煎茶の飲み切りバックをプレゼント	リハビリ孫の茶（※） （潮来市永山 777） （※）ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー内	【神宮あやめ白帆ライン】 「ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー」 下車	・体力測定（血圧、握力、身長、体重、3m歩行スピード測定）、リハビリ相談を無料で実施 ・お客様にあった体操をレクチャー ※所要時間約10分程度
対象施設（所在地）	【路線名】・「最寄バス停」	特典内容																																		
ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー （潮来市永山 777）	【神宮あやめ白帆ライン】 「ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー」 下車	・以下の対象店舗でお買い上げ（100円以上）のお客様に対して100円割引（対象店舗：ウインクエクセラ、大地堂、ミーツ、カネヒラ、ピーンズ、イジマ、アーネスト、なごみ、ミミー） ※令和3年1月2日より複数枚同時利用不可																																		
セイミヤ 潮来店 （潮来市潮来 617）	【神宮あやめ白帆ライン】 「二丁目」 下車	・商品お買い上げのお客様へ購入金額に応じてポイント进行付与 ・ポイントを貯めることにより、特典と交換が可能です。																																		
セイミヤ 延方店 （潮来市小泉南 1365）	【鹿行北浦ライン】 「潮来税務署前」 下車																																			
セイミヤ モール麻生店 （行方市麻生 3288-50）	【鹿行北浦ライン】 「セイミヤモール麻生店・カワチ薬品麻生店中央」 下車																																			
道の駅いたこ （潮来市前川 1326-1）	【2路線共通】 「道の駅いたこ」 下車	・乗車証明書1枚と当日1,000円以上のお買い上げレシート1枚（他のレシートとの合算不可）を提示でどら焼き1個プレゼント																																		
なめがたファーマーズヴィレッジ （行方市宇崎 1561）	【鹿行北浦ライン】 「レイクエコー」 下車	・大学いも1パック（定価650円（税込））を100円割引																																		
かんぼの宿潮来 （潮来市水原 1830-1）	【鹿行北浦ライン】 「白鳥の里・かんぼの宿潮来下」 下車	・日帰り入浴料金（通常750円）を200円割引 ・宿泊（1泊2食）利用時の料金を500円割引 ※他の割引、クーポンとの併用は不可																																		
あそう温泉白帆の湯 （行方市麻生 421-3）	【2路線共通】 「あそう温泉「白帆の湯」（天王崎）」 下車	・レンタルタオル大小セット（通常100円）の無料貸し出し																																		
紀之園屋茶舗 （潮来市潮来 3085）	【神宮あやめ白帆ライン】 「大塚野入口」 下車	・ご来店のお客様に接客サービス ・お茶をお買い上げの方に煎茶の飲み切りバックをプレゼント																																		
リハビリ孫の茶（※） （潮来市永山 777） （※）ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー内	【神宮あやめ白帆ライン】 「ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー」 下車	・体力測定（血圧、握力、身長、体重、3m歩行スピード測定）、リハビリ相談を無料で実施 ・お客様にあった体操をレクチャー ※所要時間約10分程度																																		
実施主体	市、民間事業者、交通事業者																																			
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																															
	周知PR実施																																			
	拡充に向けた検討、協議・調整																																			

施策	4-5 バス待ち空間の施設内設置による快適性向上（前計画の継続）				
概要	バス待ち空間の快適性を改善することはバス利用者増を図る上で重要ですが、バス待ち施設（上屋・風よけ・ベンチなど）を多くのバス停で整備することは、歩道構造やコスト面で課題があります。 そのためバス待ち施設を整備することなく、事業者の協力を得て、コンビニ等からバス待ち空間の提供を受ける取組みを推進します。 <参考事例> ○事例（茨城県 龍ケ崎市 バス待ち処 まてまで） コミュニティバスを待つ間、指定された施設を無料で利用できる。コンビニ等の協力により、バスを待つ間無料で利用できる。協力要件は、コミュニティバス停留所からの路程が 50 メートル以内、設備（利用）の無償提供、空間（店舗、待合室、軒下等）、ベンチ、トイレのいずれかの設備が整備されていることとなっている。 ○事例（群馬県 バス待ち協力施設事業） 路線バスの停留所近くにある店舗などをバス待合所として利用できるようにする「バス待ち協力施設」事業。第 1 弾として大手コンビニエンスストア 3 社の 17 店舗を登録し運用を開始。 ○事例（埼玉県 バス待ちスポット） 商店やコンビニ、金融機関や公共施設等をバスが気軽に待てる施設として活用。バス待ちスポットは、バス停留所の近くで、バスを気軽に待つことができる施設（おおむね 50m 圏内）。対象施設にはステッカーを掲示し、バス時刻表を掲示または配布。				
実施主体	市、民間事業者				
スケジュール	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	検討、協議・調整 協議が調った後に順次実施				

7.5 社会課題への貢献

施策
概要

5-1 電動バス等の導入支援によるCO₂排出量の削減推進

カーボンニュートラルの取組は地球規模の課題で、本市の公共交通についても取組を行います。

カーボンニュートラルに向け、電動バス等の導入により温室効果ガスの削減、PRを行っていきます。

<参考事例>

○環境対応車



出典：「燃料電池バスの普及及び導入支援策について（国土交通省自動車局環境政策課）」を加工

○電動バスの種類

車種	電気バス	プラグインハイブリッドバス	燃料電池バス
			
サイズ	コミュニティバス～大型	中型	大型
動力	モーター・蓄電池	モーター・エンジン	モーター・燃料電池
特徴	サイズが豊富 運用方法により必要なバッテリー容量・充電回数が変わる	1日に1回充電で走行可能 充電と給油の燃料補給が必要	1日に1回充電で走行可能 地域にバス用水素ステーションが必要
車両価格	約6,000万円～1億円	約6,500万円	約1億円
航続距離	約30km～250km	EV走行約15km、HV走行300km	約200km
補給方法	普通充電、急速充電	給油所 普通充電、急速充電	水素ステーション
環境性能	◎	○	◎

出典：電動バス導入ガイドライン 2018年12月 国土交通省

実施主体	市、交通事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	検討、協議・調整、順次実施				

施策概要	5-2 公共交通ユニバーサルデザイン化の推進				
	バス及びタクシーの様々な障害に対するユニバーサルデザイン化を推進します。 特に本市では、タクシーのユニバーサルデザイン化が進んでいないことから、タクシーのユニバーサルデザイン化を加速する取組を検討、実施します。 UDタクシー（ユニバーサルデザインタクシーの略）とは、健康な方はもちろんのこと、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい”みんなにやさしい新しいタクシー車両”で、誰もが普通に使える一般のタクシーです。 このUDタクシーの導入を促進し、移動のユニバーサルデザイン化に貢献します。 <参考事例> ○UDタクシー認定制度  UDタクシーマーク  ■UDレベル2 レベル1に比べてスロープの角度が緩やかで乗降口が低く乗降しやすい等、構造上特に優れているユニバーサルデザインタクシー  ■UDレベル1 車いす使用者のためのスロープが備えられ、また、高齢者等の乗降を円滑にするため地上高を低くするなどの配慮がされている等、様々な人にとって利用しやすい構造を有するユニバーサルデザインタクシー  ■その他 流し営業に使用されるタクシーであって、車いす専用スロープ又はリフトを備えたユニバーサルデザインタクシー 出典：UD タクシー研究会(https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/jidou_koutu/tabi2/ud-taxi/index.html)				
実施主体	市、交通事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	検討、協議・調整、順次実施				

施策概要	5-3 災害時の公共交通による移動確保				
	本市の国土強靱化地域計画では、本市に甚大な被害をもたらすと想定される自然災害（地震、台風・竜巻・豪雨などの風水害）を想定し対策が検討されています。災害時のモビリティ確保は重要な要素で、①鉄道不通時における、バス、タクシーによる代替輸送、②バス路線不通時における代替経路による運行、③帰宅困難者等のバス・タクシーによる輸送などが必要になると考えられます。 したがって、市が公共交通確保に係る防災計画を立案し、交通事業者の協力による災害対応を実施していきます。 その交通事業者の協力については、交通関係事業者と行政が災害協定を締結するなどにより、官民連携の強化を進めていきます。 <参考事例> ○遠鉄グループの南海トラフ地震対策 遠州鉄道グループでは、南海トラフ地震に備え、社員全員に「震災発生時個人行動マニュアル」をスマホ・携帯電話配信し、予知情報および地震発生時の行動内容を定めています。  衛星携帯電話  避難訓練  災害図上訓練 出典：遠州鉄道グループホームページ(https://www.entetsu.co.jp/company/profile/emergency.html)				
実施主体	市、交通事業者				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	検討、協議・調整 協議が調った後に実施				

施策概要	5-4 公共交通の衛生対策の支援				
	新型コロナウイルス感染症拡大により、公共交通の衛生対策や混雑緩和が重要になりました。 今後とも、交通事業者の衛生対策（車両や駅の感染防止対策）を支援します。 <参考事例> ○国土交通省の感染拡大防止支援 地域公共交通における感染拡大防止対策 国土交通省 【令和2年度2次補正予算：13,805百万円】 地域の生活や経済活動を支えるために機能の確保が求められている公共交通について、地域公共交通事業者が十分な感染拡大防止対策を講じることができるよう、駅・車両等の衛生対策や、車内等の密度を上げないよう配慮した運行等の実証事業を支援。 補助対象経費 ○車両・船舶・航空機における抗菌・抗ウイルス対策 ○熱感知カメラ等の設置 ○バス運転席仕切りカーテン隔壁の設置 ○混雑時の移動（密な移動）回避を目的としたリアルタイム情報を提供するシステム導入 ○必要な感染症対策を行ったうえで、車内等の密度を上げないよう配慮した実証運行 ○駅・ターミナルの衛生対策 等 補助対象事業者 ○鉄道事業者（地域鉄道） ○バス事業者（地域バス） ○旅客船事業者（定期航路（生活航路）） ○航空運送事業者（特定本邦航空運送事業者を除く。） 補助率 ○1／2等 ターミナル等の衛生対策 車内の抗菌・抗ウイルス対策 熱感知カメラ設置による感染者の公共交通利用自粛協行 バス運転席仕切りカーテン 車両の混雑具合を提供するシステムの導入（カナダ・transit） 出典：地域公共交通感染拡大防止対策（地域バス関係） 国土交通省(https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr3_000027.html)				
実施主体	市				
スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	順次実施				

8. 目標の設定と進行管理・評価

8.1 目標の設定

令和2年11月、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正により、地域公共交通計画においては、利用者数及び収支率その他の定量的な目標を定めることとされています。また「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き 令和2年11月 国土交通省」では、標準指標として、「住民等の公共交通の利用者数」、「公共交通の収支率」、「公共交通への公的資金投入額」が示されています。

計画目標（1～5）に対応する数値目標の指標は次のとおりとします。設定した指標は、①前記標準指標を含むこと、②毎年比較的容易に計測できること、③アウトカム指標を含むことを条件に選定しました。

■数値目標の指標

計画目標	数値目標	計測方法
【計画目標1】 持続可能な公共交通ネットワークへの改善	●広域路線バスの利用者数	市保有データ
	●広域路線バスの公的資金投入額	市保有データ
	●広域路線バスの収支率	市保有データ
【計画目標2】 マイカーに頼らない移動の利便性向上	●高齢者タクシー利用料金助成事業の申請者数	市保有データ
	●運転免許自主返納者数	市保有データ
【計画目標3】 交通拠点の活性化による公共交通利用者増の実現	●水郷潮来バスターミナル及び道の駅における広域路線バス乗降者数	市保有データ
【計画目標4】 多様な取組みによる公共交通利用促進	●広域路線バス利用者数と高齢者タクシー利用料金助成事業の利用者数の合計	市保有データ
【計画目標5】 社会課題への貢献	●新たな取組み実現数	市による事業進捗確認

目標数値は次のとおりです。

■目標数値

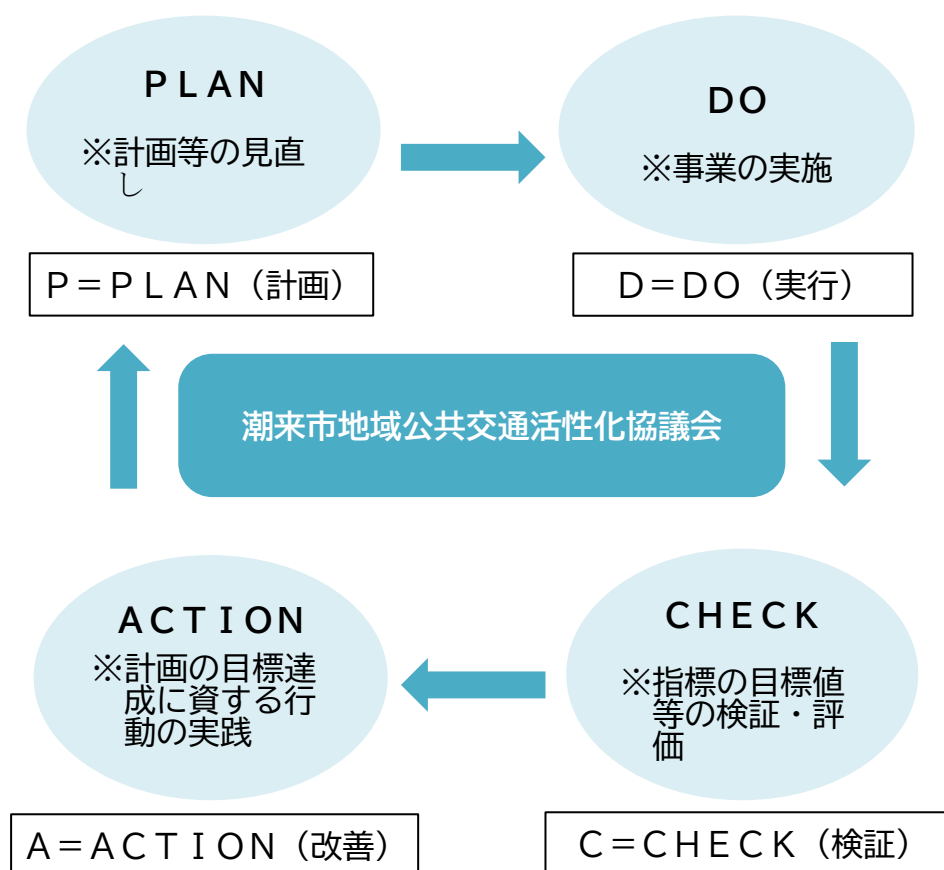
計画目標	数値目標	現況値 令和 3 年	目標値 令和 8 年	目標設定の考え方
【計画目標1】 持続可能な公共交通ネットワークへの改善	● 広域路線バスの利用者数(人/年)	38,365 ※令和元年	42,201	現況値に 75 歳以上人口の 2015 年-2020 年の増加比約 1.1 を乗じる。
	● 広域路線バスの公的資金投入額(千円/年)	66,214 ※令和元年	65,306	運賃収入は、75 歳以上人口の 2015 年-2020 年の増加比約 1.1 を現況に乘じ、運行コストは現況値として算出。
	● 広域路線バスの収支率(%)	12.1 ※令和元年	13.3	上記と同様の運賃収入、コストの算出方法にて算出。
【計画目標2】 マイカーに頼らない移動の利便性向上	● 高齢者タクシー利用料金助成事業の申請者数(人)	744 ※令和元年	1,165	平成 28 年の市民アンケート調査による 70 歳代の「思うような外出ができない理由」が「目的地へ行く交通手段がない」「移動にお金がかかる」約 46%に 75 歳以上・免許非保有者数を乗じる。
	● 潮来市高齢者運転免許返納促進事業の申請者数(人/年)	57 ※令和元年	89	現況値に高齢者タクシー利用料金助成事業申請者の「目標値/現況値」1.57 を乗じる。
【計画目標3】 交通拠点の活性化による公共交通利用者増の実現	● 水郷潮来バスターミナル及び道の駅における広域路線バス乗降者数(人/年)	3,606 ※令和元年	3,786	道の駅いたこ利用者数の平成 29 年度-平成 30 年度の増加比 1.01 を 5 ヶ年に補正した 1.05 現行の水郷潮来バスターミナル及び道の駅の利用者数を乗じる。
【計画目標4】 多様な取組みによる公共交通利用促進	● 広域路線バス利用者数と高齢者タクシー利用料金助成事業の利用者数の合計(人/年)	51,379 ※令和元年	62,579	高齢者タクシー利用料金助成事業の現行利用件数(13,014 件)に申請者数の目標値/現況値を乗じた人数と、広域バス利用者数の目標値の合計。
【計画目標5】 社会課題への貢献	● 新たな取組み実現数	0	4	事業 5-1~5-4 の 4 事業を想定。

※利用者数や運賃収入等について令和元年度値としたのは、令和 2 年及び 3 年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け利用が減少したため。

8.2 進行管理・評価

(1) 基本的な考え方

計画の達成状況に関する評価は、法定協議会（潮来市地域公共交通活性化協議会）がPDCAサイクルに基づき、指標の目標値や事業の進捗状況を定期的に評価するものとします。地域の状況や社会情勢が変化した場合についても計画を見直します。



■PDCAサイクル

(2) 体制と役割

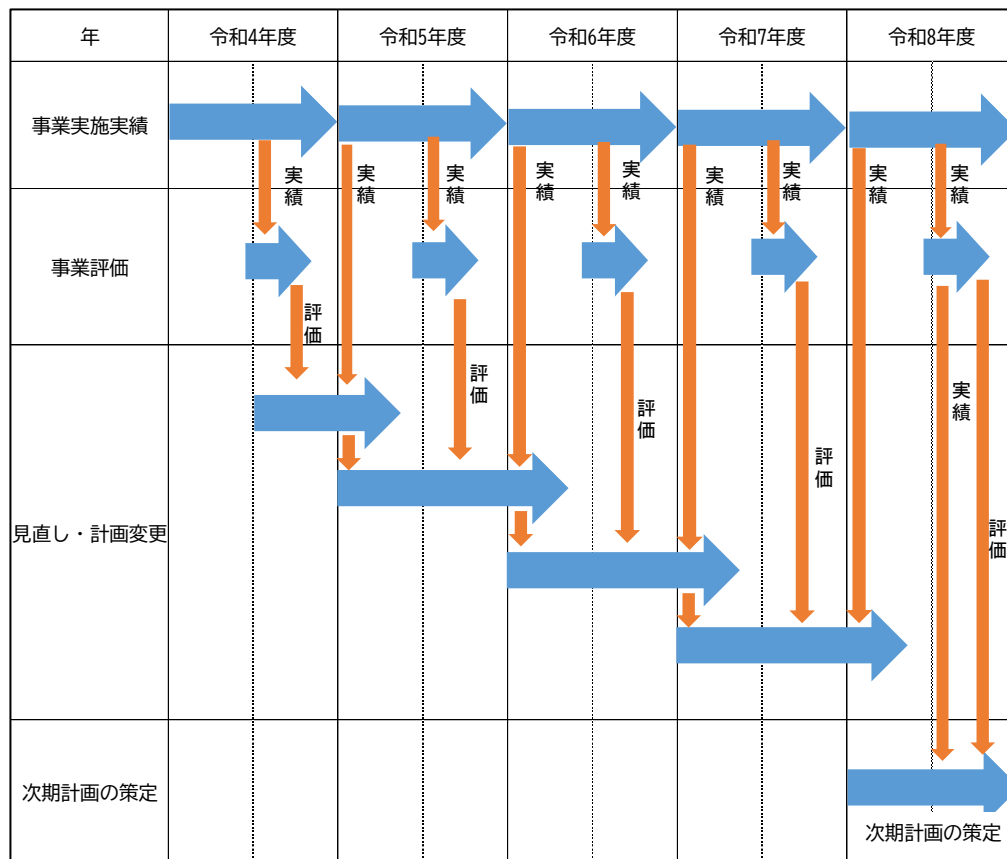
進行管理は、法定協議会が行います。その構成は次頁のとおりです。

事務局は、施策・事業の進捗状況をモニタリングします。法定協議会では、そのモニタリング報告を受け、適切に事業が実施されているか、その成果が適正であるか等々を評価し、今後の事業の進め方を協議します。また必要に応じて地域公共交通計画を変更するものとします。なお、評価結果は国土交通省関東運輸局へ報告します。

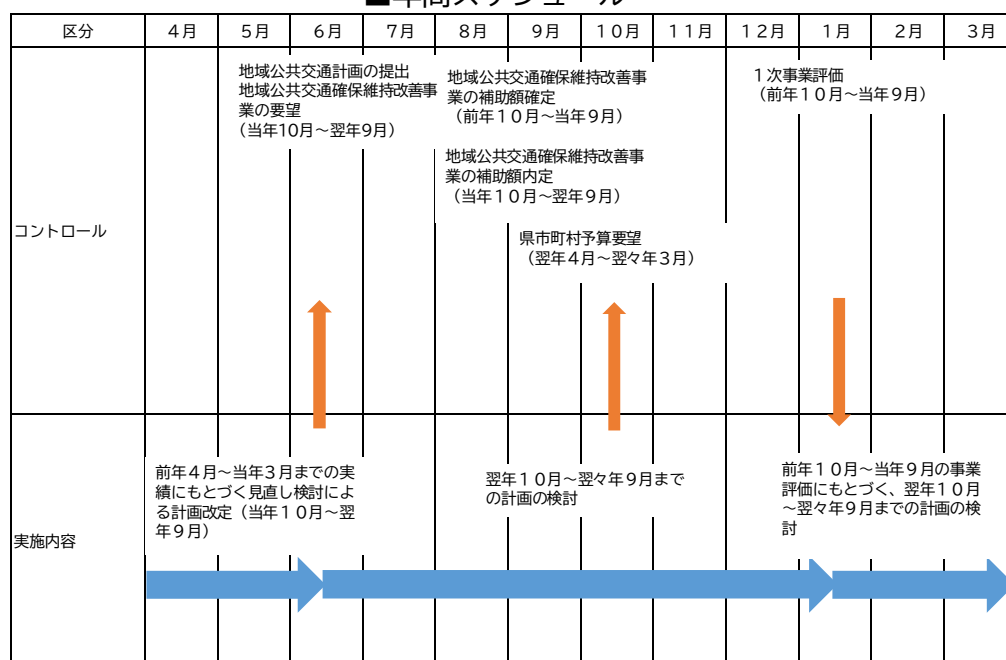
(3) 法定協議会のスケジュール

法定協議会等の「計画期間内のスケジュール」と「年間スケジュール」は次のとおりです。

■計画期間内スケジュール



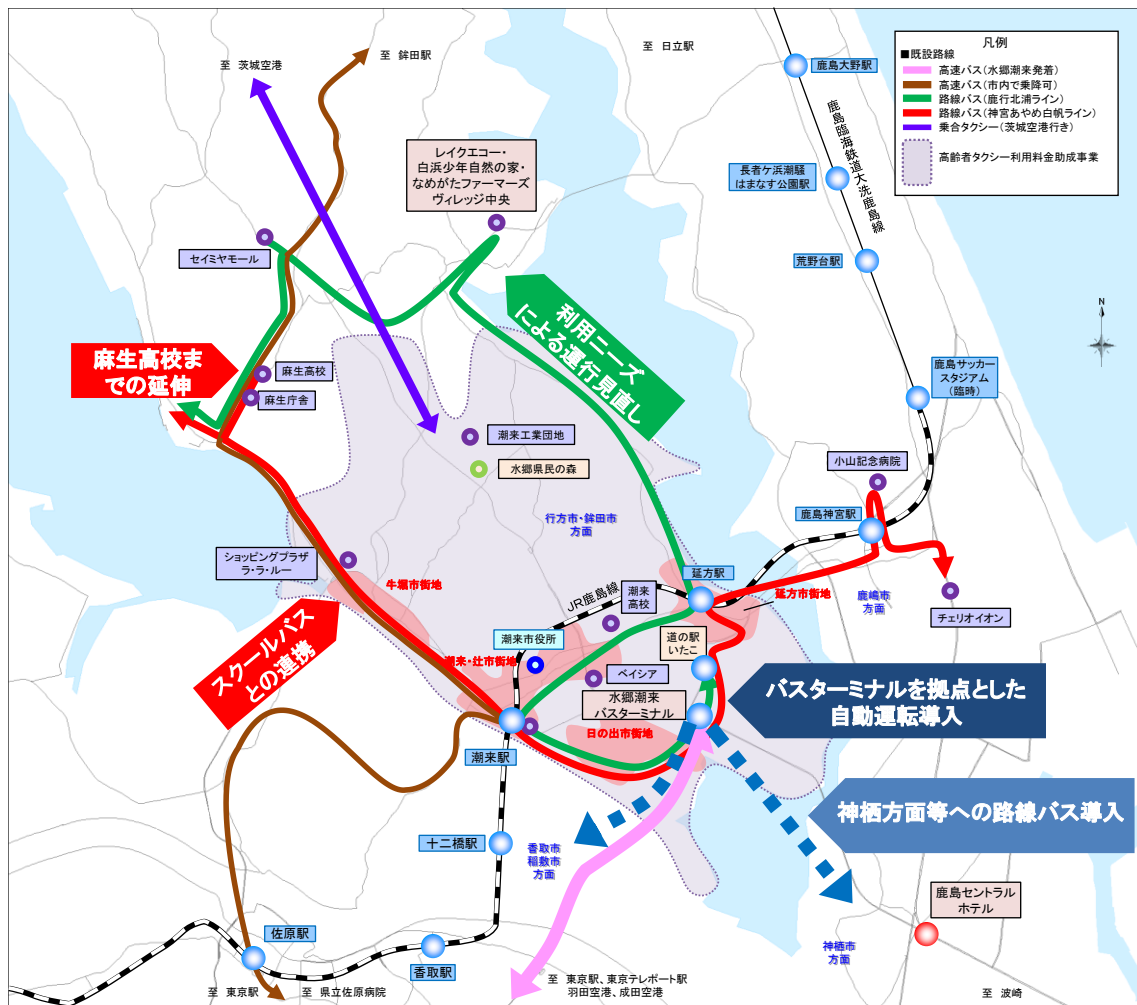
■年間スケジュール



9. 地域公共交通確保維持事業について

本計画において、地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統確保維持事業）に関わる概要を以下のとおり示します。

●公共交通ネットワーク図（再掲）



●地域内フィーダー系統確保維持事業該当路線

運行系統	実施主体	位置づけ・役割・事業の必要性	事業状況 (令和元年度)	目標値 (令和8年度)
鹿行北浦ライン	関東鉄道(株)	潮来市内の東側を通り、潮来市（鉄道駅・水郷潮来バスターミナルなど）、行方市（行政施設、観光施設、高校など）を連絡する。潮来市内移動、潮来市と行方市の移動を担う。 一方で、自治体の財政負担だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）により運行を確保、維持する必要がある。	利用者数 8,877(人/年) 運行経費 30,810(千円) 公的資金投入額 28,999(千円) 収支率 5.9(%)	利用者数 9,764(人/年) 運行経費 30,810(千円) 公的資金投入額 28,818(千円) 収支率 6.5(%)
神宮あやめ白帆ライン	関東鉄道(株)、(株)池田交通	潮来市内の西側を通り、潮来市（鉄道駅・水郷潮来バスターミナルなど）、行方市（行政施設、観光施設など）、鹿嶋市（鉄道駅、病院など）の交通結節点や拠点間を連絡する。 潮来市内移動、潮来市・行方市・鹿嶋市間の移動を担う。 一方で、自治体の財政負担だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）により運行を確保、維持する必要がある。	利用者数 29,488(人/年) 運行経費 44,490(千円) 公的資金投入額 37,215(千円) 収支率 16.4(%)	利用者数 32,437(人/年) 運行経費 44,490(千円) 公的資金投入額 36,488(千円) 収支率 18.0(%)



資料編

潮来市地域公共交通計画策定経緯

開催日	会議名・議事内容
令和3年 4月16日 ～4月26日 (書面協議)	令和3年度 第1回 潮来市地域公共交通活性化協議会 (1) 令和2年度第2回会議(書面協議)の結果について (2) 令和2年度潮来市地域公共交通活性化協議会事業報告について (3) 令和2年度潮来市地域公共交通活性化協議会収支決算について (4) 各バス路線及び高齢者タクシー利用料金助成事業等の状況について (5) 潮来市地域公共交通活性化協議会規約及び事務局規程の一部改正について (6) 令和3年度・4年度役員選出について (7) 令和3年度潮来市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)について (8) 令和3年度潮来市地域公共交通活性化協議会収支予算(案)について (9) 潮来市地域公共交通計画策定調査業務について (10) 生活交通確保維持改善計画について
令和3年 6月16日 ～6月28日 (書面協議)	令和3年度 第2回 潮来市地域公共交通活性化協議会 (1) 令和3年度第1回会議(書面協議)の結果について (2) 潮来市地域公共交通計画策定調査業務に係る公募型プロポーザルの結果について (3) 交通不便地域指定申請について
令和3年 10月18日	令和3年度 第3回 潮来市地域公共交通活性化協議会 (1) 令和3年度第2回会議(書面協議)の結果について (2) 潮来市地域公共交通計画策定調査業務の進捗状況について (3) 潮来市地域公共交通計画素案の策定について ・潮来市の現況及び上位・関連計画について ・高齢者タクシー利用料金助成事業の利用分析について ・広域バスの利用分析について ・現行計画のフォローアップについて ・地域公共交通の問題・課題整理について
令和4年 1月17日	令和3年度 第4回 潮来市地域公共交通活性化協議会 (1) 潮来市地域公共交通計画素案の策定について ・計画策定の概要について ・基本方針について ・計画目標について ・実施する事業、実施主体について ・目標の設定と進行管理、評価について
令和4年 1月21日 ～1月31日 (書面協議)	令和3年度 第5回 潮来市地域公共交通活性化協議会 (1) パブリックコメント実施に向けた潮来市地域公共交通計画素案について (2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について (3) 新高校生に対するリーフレット及びバスお試し乗車券の配布について
令和4年 3月23日	令和3年度 第6回 潮来市地域公共交通活性化協議会 (1) 令和3年度第5回会議(書面協議)の結果について (2) パブリックコメントの結果について (3) 潮来市地域公共交通計画の策定について (4) 令和4年度のバス路線運行及び高齢者タクシー利用料金助成事業の方針について

潮来市地域公共交通活性化協議会委員名簿

No.	区分	委員氏名	団体名等	役員
1	(1) 茨城県バス協会の代表又はその指名する者	川上 敬一	一般社団法人 茨城県バス協会 専務理事	
2	(2) 茨城県ハイヤー・タクシー協会の代表又はその指名する者	服部 透	一般社団法人 茨城県ハイヤー・タクシー協会 専務理事	
3	(3) 旅客自動車運送事業者の代表及び関係団体代表	長津 博樹	関鉄グリーンバス株式会社 代表取締役社長	
4		小峰 義夫	一般社団法人 茨城県ハイヤー・タクシー協会 鹿行支部 潮来地区会 会長 日の出タクシー有限会社 代表取締役	
5		武藤 成一	関東鉄道株式会社 常務取締役 水郷潮来バスターミナル構内組合 組合長	
6		池田 正人	関東鉄道株式会社 労働組合 執行委員長	
7	(4) 関東運輸局茨城運輸支局長又はその指名する者	鈴木 裕一	関東運輸局茨城運輸支局 首席運輸企画専門官	
8		牧瀬 成博	関東運輸局茨城運輸支局 首席運輸企画専門官	
9	(5) 茨城県公共交通担当部局	中村 浩	茨城県政策企画部交通政策課 課長	
10	(6) 茨城県公安委員会が指名する者	小貫 由美子	茨城県行方警察署 交通課 課長	
11	(7) 道路管理者又はその指名する者	米川 博之	茨城県潮来土木事務所 技佐兼次長兼道路整備課長	
12	(8) 商工観光に携わる者	塚本 誠一	潮来市商工会 会長	
13	(9) 住民又は利用者の代表	方波見 守一	潮来市区長会 会長	
14		笠間 丈夫	潮来市議会 議長	副会長 R4年3月22日まで
		箕輪 昇	潮来市議会 議長	副会長 R4年3月23日から
15	(10) 学識経験者	岡本 直久	国立大学法人 筑波大学 システム情報系 教授	
16	(11) 市の職員	庄司 敦子	潮来市 副市長	会長
17		額賀 浩	潮来市 市長公室長兼総務部長	
18		茂木 衛	潮来市 市民福祉部長	
19		本村 敏行	潮来市 建設部長	
20	(12) その他市長が必要と認める者	高須 敏美	行方市 企画部長	

潮来市地域公共交通計画

令和 4 年 3 月発行

潮来市地域公共交通活性化協議会

潮来市 市長公室 企画調整課

茨城県潮来市辻 626

TEL:0299-63-1111(代) FAX:0299-80-1100

E-mail:kotsu@city.itako.lg.jp

